勇者が死んだ！

THE LEGEND OF A HERO IS DEAD
URA SUNDAY COMICS
スバルイチ
SUBARUICHI
3
村人の俺が拾ったおとり剣に勇者が宿った結果。

スバルイチ

+THE LEGENDARY HERO IS DEAD!
SUBARUICHI

勇者が死んだ！

村人の俺が
掘った落とし穴に
勇者が落ちた結果。

3

勇者が死んだ!
▶もくじ

第23話　たしなみ ―― 5
第24話　貴方の嘘のせいで ―― 25
第25話　魔導車 ―― 47
第26話　田舎町 ―― 63
第27話　感染 ―― 83
第28話　生存者 ―― 105
第29話　憑依 ―― 123
第30話　ユナの身体 ―― 139
第31話　魔導弓 ―― 155
第32話　鋼鉄の部屋 ―― 167
第33話　屋根上の戦い ―― 181

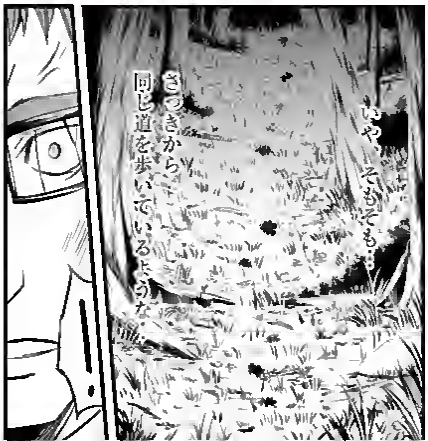
ドクン
ドクン
第23話▶たしなみ

ちょっと待った！
きゃあっ！

あいつは純粋な
屍術師(ネクロマンサー)じゃねえ！
なら、ヤツの魔晶石(ましょうせき)を
奪えばいいんだ！

第23話 ▶ たしなみ

おかしい…


いや、そもそも…
さっきから、同じ道を歩いているような…
！！

出血(ブリーディング)多すぎ…
もう致死量をはるかに超えている…

血痕が分かれている!?
オオオオ
違う…
そもそもこれは血痕じゃない！

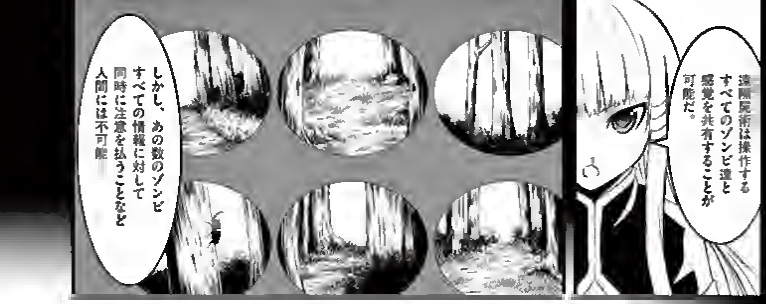
ハメられた…
これは罠！

3

そう…
誰がどう見ても罠。
だが、ソーマの撃を使ったことによる圧倒的優位な状況。
それと同時に、効果が切れる前に決着をつけたいという焦りから、
ヤツが追う側としての立場を崩すことはまずあり得ない。
そこでヤツの取る選択肢はおそらくこの一つ――

自分はその場に残り、
すべての方角へ
ガイコツ達を
向かわせること――!!
これで戦力の分散はできた。
あとは聖剣の能力と
マルグリットの
画力の合わせ技…
分岐点の前で
岩に擬態し
チャンスを
待てばいい。

ちょっと待って!
チャンスも何も、
リーランドはさらに
警戒を強めるんじゃ
ないの?
まさか
すべてのガイコツを
向かわせるわけじゃ
ないし。
…


遠隔魔術は操作する
すべてのゾンビ達と
感覚を共有することが
可能だ。
しかし、あの数のゾンビ
すべての情報に対して
同時に注意を払うことなど
人間には不可能

そうだ…
つまり――
単純な罠
だろうと、
ドン
容易に
引っかかる！

そしてその感覚は
リーランドに伝わり、
ヤツの注意は罠にかかった
ガイコツの方へ向く。
なにが
起こった！
罠!?
そしてその際に――

俺が紛れる！
ズッ
え…？
これは…！
ガイコツが
自らの意志で私に…
私の願いが叶っ…
グ

なッ！

魔晶石は左手に
付け替えました。

来ると
思いましたよ。

なるほど。
つい、
油断して
しまいました。

ですが…
残念ながら
そちらは硬化された
ただの手首。

大量の骸骨達と
硬化の魔術――
ほぼ無敵のこちらに対して、
反撃に出るとしたら
魔晶石を奪うしかない。

クソ……！
ハハハ……！
もう手遅れですよ！
さあ、私の骸骨達。
この男を
引き剥がしなさい。
肉体強化！
アイン・グレンデル

ドン
ドン

破壊できなくとも、
吹き飛ばすことはできる！
！
！をつなぐことで二人同時に魔術の効果を

散り散りになった骸骨達もすぐに舞い戻りますよ！
そうなれば終わりです！

なるほど！
それでも数はこちらが有利！

もちろん…
奇襲に失敗する可能性もあるだろう。
だが、その時は何としてでもヤツの魔晶石をむき出しにする。

そしてマルグリット、
あんたが遠距離からヤツの魔晶石を狙うんだ。
遠距離から…？
でもそんな魔術

ここは森だ。
誰でも簡単に作れる強力な遠距離武器があるじゃねえか。

これはカラカライチイ。
この木は普通の木と比べて非常に高い弾力性を持つ――
これはコンゴウイラクサ。
こいつの茎は縄として代用できるほどに丈夫だ。
ざっと見渡すだけですぐに材料は見つかる。

まさか…その武器は…

姫様…
できました。
アイザック…
わたくしは貴方を
恨んでなどおりません。
貴方がいなければ、
わたくしは今、
己の無力さに
涙を流すことしか
できなかったでしょう。
見ていてください。

貴方に教わったわたくしのすべてを――

ええ、
あんたなら、当てられるだろ。
王女として、
当然の嗜み
ですから。

ヒュン
ヒュン

ザシュ
あ、
ああ…
嘘だ…
嘘だ
嘘だ
嘘だ……!
マリア!
クローディア!
セリム!
みなさん…
しっかり
してください…!!
ザッ

オオオオオ
さて…
覚悟はいいかしら？

ゴッ

悪いな。

フトモモのない世界を望んだ時点で、

テメーは俺に倒される運命だったのさ。

スゴイ！

そこまで決まっていたとは！

いや、決まってないから。

そもそもあんた一人じゃ無理だったから。

トウカさん！わたくし達、助かったのですね！

ああ、ほぼこの俺のおかげでな！

！

ヒャハハハッ！
弱ェ！
リーランド
弱ェ！
クソ雑魚
じゃねェか！
ズル
せっかく土産を
持ってきてやった
のによォ！
ズリル
うう…
冥途の土産に
なっちまったなァ！

あの時…
地下にいた…
赤い頭の悪魔……！
シルエラさん！
あれは…
上級悪魔だ！
キィィィィィィ

トウカさん!!

第24話▶貴方の嘘のせいで

トウカさん！
トウカ！
トウカ殿！

あれー？
王女の方をぶっ殺すつもりだったのによぉ…
なんか変な男の方に当たっちまったなァ。
まあいーや！
次つぎィ！
つか、それ聖剣じゃね？
もしかして勇者？

確か…
！
〝硬化〟（アイン・ロサピス）！
そして――
〝肉体強化〟（アイン・グレンデル）！
一級悪魔…！
私の魔力レベルで…
どーにかなる相手かわかんないけど…
やるしかない！

ほおう！
クソ雑魚
にしては
悪くねェ
動きだ。

トウカは無事!?
まだ生きている…!
だが…
このままでは危険だ…!
トウカ殿の再生力では…!
リーランドのソーマの雫は!?
ない…
あれが最後だったんだ!!
やはりわたくしが…
わたくしが魔力を注ぐしか…

アンリちゃん!
いったんトウカを元の身体に戻して!
トウカの精神だけでも助けないと…!

だめだ…
こんな状態で
無理やり戻したら、
トウカ殿は
確実に廃人に
なってしまう…!!
ん?

!
アンリ!?

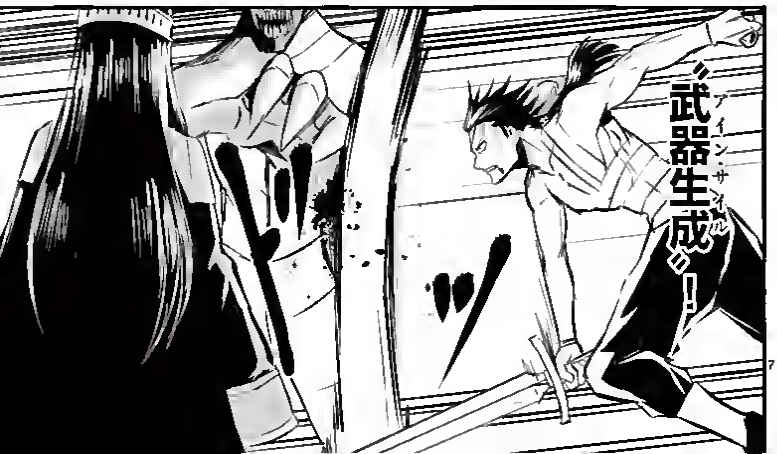
オイオイ!
アンリじゃねェか!
リーランドの
すってた屍術師って
お前だったのかよ!
!?

何してるんだよ。
悲しむフリなんかして。
死を悼む感情なんて持ち合わせてねーだろ！
俺達屍術師（ネクロマンサー）はよ！
俺達…？
まさか…
貴公は…
アンリさん！
く……放せ！
お前は連れて行く。

それまで
おねんねタイムだ。

さあて、
んじゃあ、
張り切って
ぶっ殺して
いくかァ！

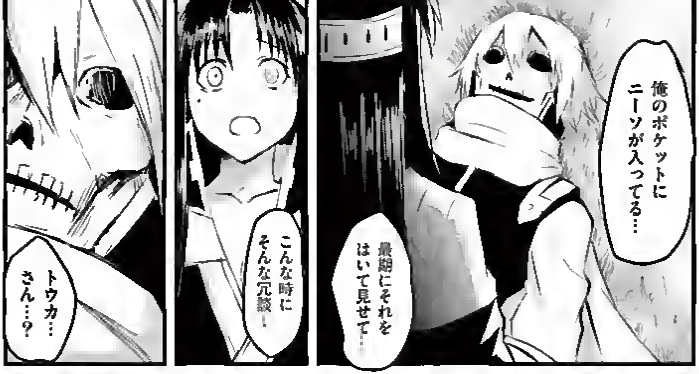
王女が死んだと
なれば…
あの国王が
どんな顔するか
今から楽しみだぜ。


〝武器生成（アイン・サイル）〟！

姫様！
私が時間稼ぎを
します！
その間に
その男を……！
ハナっから
満身創痍の
クソ雑魚か…
テメェから殺るのも
悪くねェ。
まだ私との戦いも
終わってないわよ！
クソ雑魚
どもがァ…

駄目…
どうしよう…
気が焦って…
出ない…！
もういい…
やめろ……
一国の王女様がやることじゃねえよ…
トウカさん！

クソ…
こうなることは
わかってたんだよ…
世界を救うなんて
土台無理な
話だったんだ…
俺はただの農夫
なんだからよ…
そんなこと
ありません！
貴方は自分の身を
犠牲にして
わたくしを
かばってくれた！
少なくとも…
わたくしに
とっては…
貴方が本当の
勇者様です…！
そうかよ…
じゃあ、勇者からの
最後のお願いだ…


俺のポケットに
ニーソが入ってる…
最期にそれを
はいて見せて…
こんな時に
そんな冗談…
トウカ…
さん…？

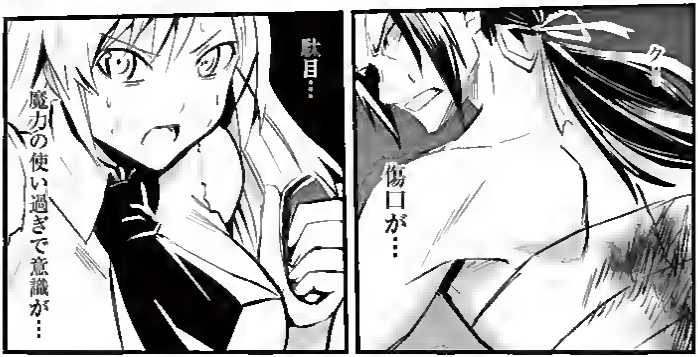
トウカさん…！
トウカさん！

こんなところで
死ぬなんて、
わたくしは
絶対に許しません…！
許しませんから…！
責任…
取ってくださいよ…！

貴方のせいで…
貴方の嘘のせいで…

わたくしは恋を
してしまったのですよ…！

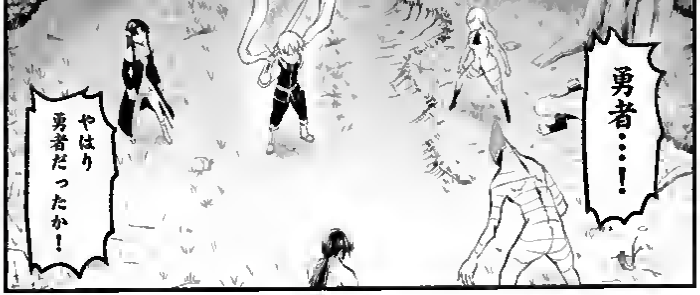
どおしたァ！
動きが鈍いぜェ！


ク
傷口が…
駄目…
魔力の使い過ぎで意識が…

もう十分だぜ。
時間稼ぎは。

姫様の涙で
復活なんてよ…

これぞ真の勇者ってヤツだよなあ!!


勇者……！
やはり勇者だったか！

いや…
中身は別人か…？
あん？

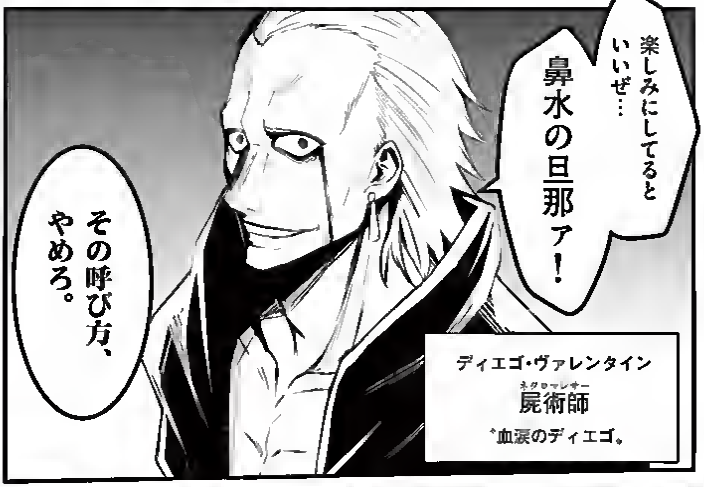
何度復活してこようが…
クソ雑魚には変わりねェがなァ！

誰がクソ雑魚だってぇ？
いやー、
クソ雑魚はテメーの方だろ！
あれは…
巨大な剣……！
いや……！

巨大な…
フトモモ…!!
ぶっ潰れろ。
目玉野郎！

ガシッ
ズサーッ

あれが勇者…
同一髪だったぜ…
いいね！
いいねえ！
泣けてくるぜ！
あれくらい
強くねえと
よォ！
そうでないと、
俺達の復讐劇も
盛り上がらねえ
よなあ！
何があった？
ディエゴ。
ククク、
色々と
面白いことに
なりそうでなァ。

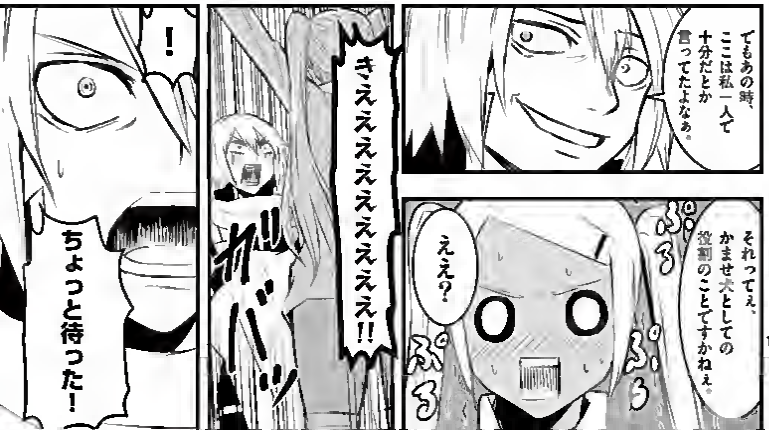

楽しみにしてるといいぜ…
鼻水の旦那ァ！
その呼び方、やめろ。
ディエゴ・ヴァレンタイン
屍術師（ネクロマンサー）
*血涙のディエゴ。

マジでやめろ。
フリードリヒ・ノルシュテイン
屍術師（ネクロマンサー）
*鼻水の旦那

ビームが…
あんな女の
倒し方
するから？
女能!!
え…
ここは俺の活躍
ねぎらってくれる
とこじゃないの？

……
第25話▶魔導車

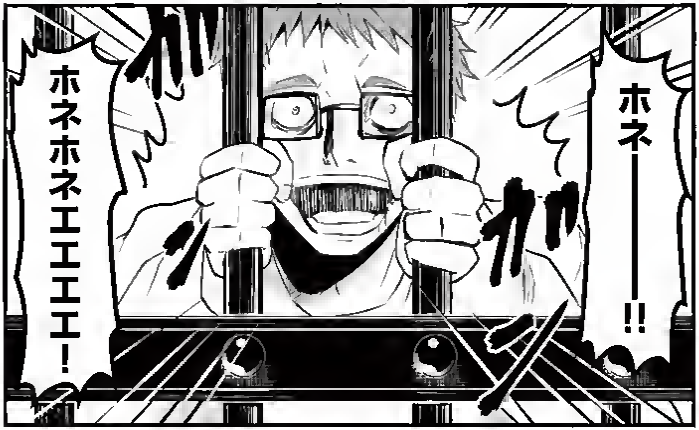
四騎士（笑）
雷剣（笑）
上級悪魔相手にあんなザマでよくそんな恥ずかしい二つ名が名乗れたもんだなあ。
違う！
ヤツが急に現れて不意を突いてきたんだ！まともに戦えばこんなことには…

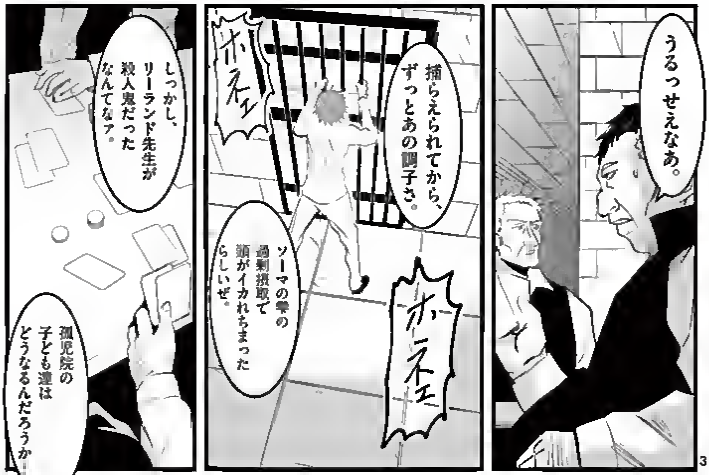

でもあの時、ここは私一人で十分だとか言ってたよなぁ。
それってぇ、かませ犬としての役割のことですかねぇ。
ぷるぷる
ええ？
きえええええええええ!!
ガバッ
！
ちょっと待った！

シルエラさん！
いや、シルエラ様！
やっぱあんたスゲーよ！最高だよ！
急にどうしたんだこいつ…
いや…この真剣なまなざし…
見た目は勇者でも中身は戦闘経験の乏しいただの村人
あやつ、何者なのだ…
我の全てを看破しているのか…
フッ…可愛いヤツめ

スゲエ…
包帯ニーソ…
ドン
そんな方法があったのか…!!

王城地下
ホネ
ホネ


ホネ――!!
ホネホネエエエエ!


うるっせえなあ。
捕らえられてから、ずっとあの調子さ。
ホネエ
ソーマの雫の過剰摂取で頭がイカれちまったらしいぜ。
しっかし、リーランド先生が殺人鬼だったなんてなア。
孤児院の子ども達はどうなるんだろうか。

あんたがここの院長を!?
まずは形だけだがな。
子ども達の面倒も基本的には他の職員がやってくれる。
しかし、資金がなければここは存続できない。
そこで私が立候補したわけだ。
もちろん、
いずれはここで教育者として再出発しようと考えている。
一から自分の教育を見直し、二度と同じ過ちを犯さないようにするつもりだ。
ちょっと…
わたくしが失敗作みたいなこと言わないでください。
魔漏症だって治ったのですから、もう気に病むことなんて一つも!
ええ!?
あの病気治っちまったの!?

はい。
魔漏症は
精神的なストレスから
来る病。

10年以上溜めた涙と共に、
王女としてではなく、
わたくし自身の想いを
吐き出したのが
良かったのかもしれません。

おいおい…
また腐ってきたら
涙を貰いに行こうと
思ってたのに…

あんた、
他人の病を
何だと
思ってんのよ…
だいたい、
その度に
引き返してたら、
一向に旅進まない
でしょうが。

大丈夫です！
まだ残ってる
ゾーマの雫を
お渡ししますから！

マジかよ！

これでようやく
まともに
勇者として
旅ができるぜ！

腐ったり骨になったり、
まさか悪魔との戦い
以前の問題で
ここまで苦しめられるとは
思わなかったぜ！

俺達の
本当の戦いは
これからだな！

そんな、
旅が終わりそうな
不吉なセリフ
言わないでよ…

それはそうと
さっき言ってた
わたくし自身の想い？
あれって
どういうことだ？

あの時、意識が
はっきりしてなくてなあ…

ドドドドド

え…！

えっと！

それはその…！

ああ…
どー…どうしましょう…
あの時は勢いに
まかせて…って、
しまいましたけど
は…
恥ずかしくて
もう一度なんて…
そうか！
俺があの時頼んだ
最後の願いを
叶えたいってことだろ!?
へ…

トウカさん…
あんまりです…
なんで…
聞いてないんですか…
グイッ

どうでしょうか…
うひょおお！
ユナに負けず劣らずの
むっちむち！
野菜仲間…
形も、3年に一度
穫れるか穫れないかクラスの
大根のようだ…！
それって
褒め言葉
なんですか…？

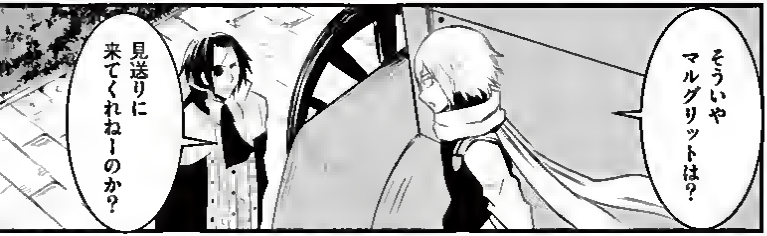
いやー、これでマルグリットとお別れなんて悲しいぜ。
毎日そのフトモモ…俺の顔で拝ませてくれてもいいんだぜ…？
なにその気色悪い口説き文句…
わたくしは…
ごめんなさい…
王女ですから…
次の日
そうか…もう旅立たれるのか。
もう少しゆっくりしていけばよかろうに。
いえ、王国の…
世界の危機ですので…

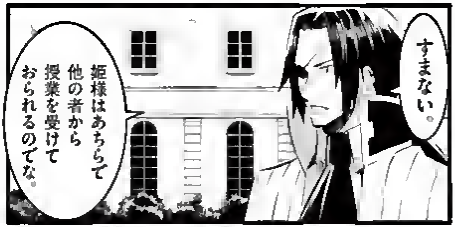
どうせこのゴリ王、
残ってたら
また手合わせしようとか
言い出すんだろ！

オほら、
もう半分戦闘態勢だよ！
オ
オ
オ

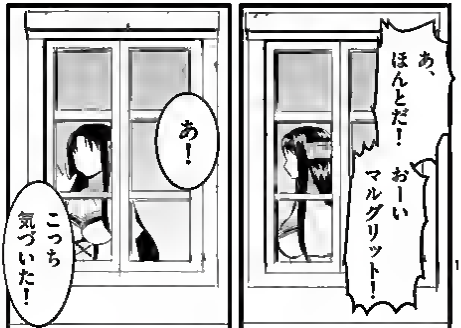
なんだこれは！
巨大な…
馬車!?
バーン
これは魔導車。
運転席に取り付けられた魔晶石に魔力を注ぐことで動かすことのできる、馬のない馬車だ。
スゲー!! 見てみろよ! 無茶苦茶広いぜ!
これならもう野宿する必要もないじゃない！
でも、身体鈍っちゃいそう。
バタン

む…？
魔力で動く…？
ガバッ
今度まで
ガーン
運転するの全部私…！
運転レベル2
運転レベル1


そういや
マルグリットは？
見送りに
来てくれねーのか？

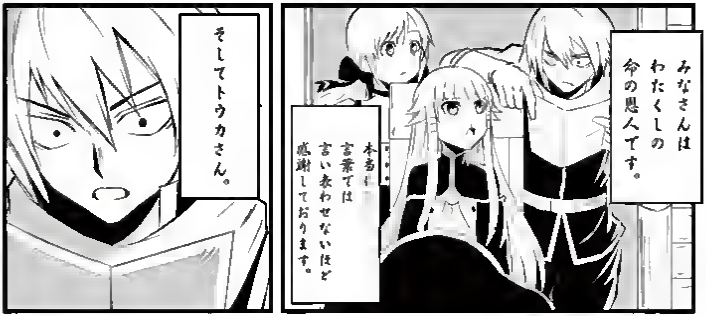

すまない。
姫様はあちらで
他の者から
授業を受けて
おられるのでな。

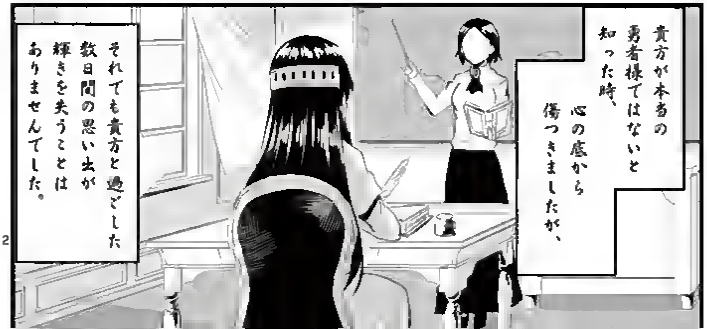
姫様から
手紙を預かっている。
あとで読むといい。


あ、
ほんとだ！
おーい
マルグリット！
あ！
こっち
気づいた！

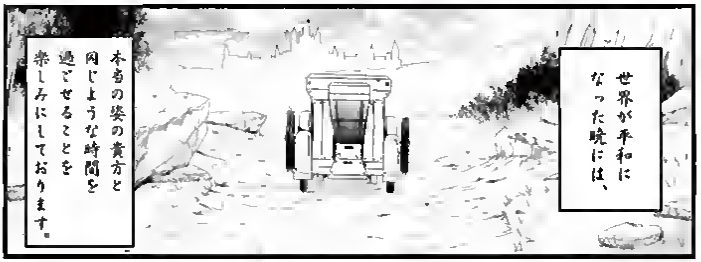
ゴトゴトゴト

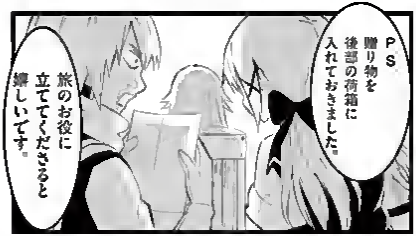
トウカさん、
ユナさん、
アレリさん。
みなさんがいなければ、
わたくしは
もうこの世には
存在しなかった
ことでしょう。

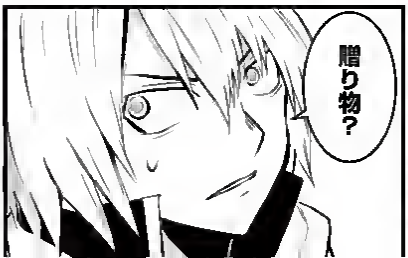

みなさんは
わたくしの
命の恩人です。
本当に
言葉では
言い表わせないほど
感謝しております。
そしてトウカさん。


貴方が本当の
勇者様ではないと
知った時、
心の底から
傷つきましたが、
それでも貴方と過ごした
数日間の思い出が
輝きを失うことは
ありませんでした。

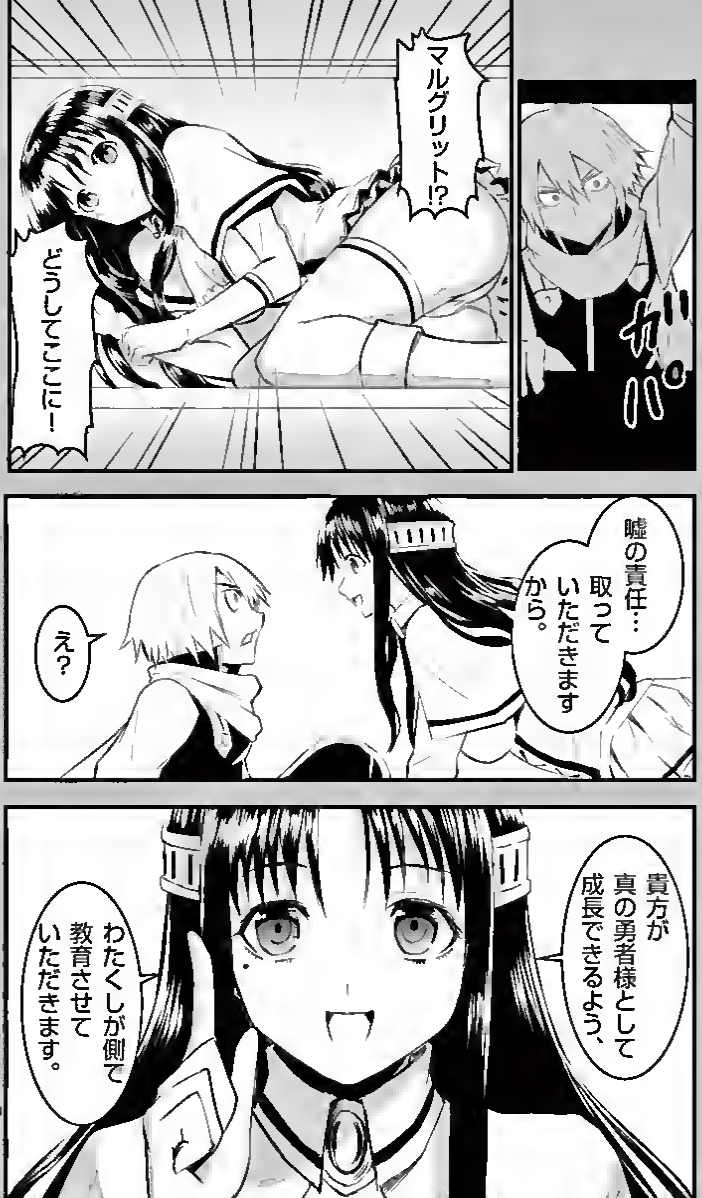
貴方と過ごした日々は、
貴方がしてくれたことは、
わたくしの宝物です。
ずっと忘れません。


世界が平和に
なった暁には、
本当の姿の貴方と
同じような時間を
過ごせることを
楽しみにしております。


PS
贈り物を
後部の荷箱に
入れておきました。
旅のお役に
立ててくださると
嬉しいです。


贈り物？

それでは、
みなさんの旅の無事を
心より祈って――
ファロム王国第三王女
マルグリット・
ファロム。

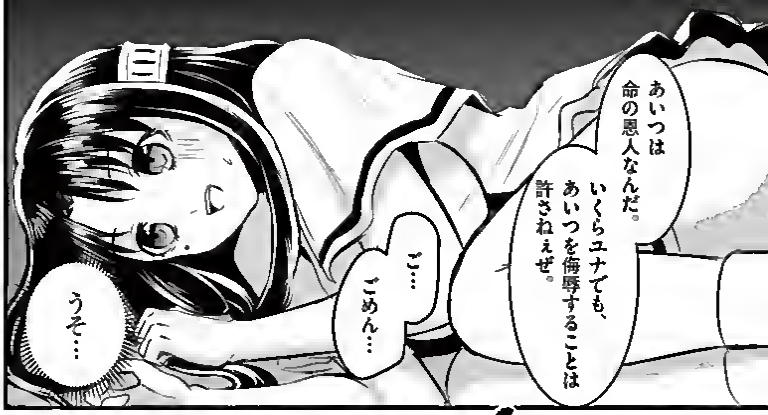

マルグリット!?
どうしてここに!
ヤバい
嘘の責任…
取っていただきますから。
え?
貴方が真の勇者様として成長できるよう、
わたくしが側で教育させていただきます。

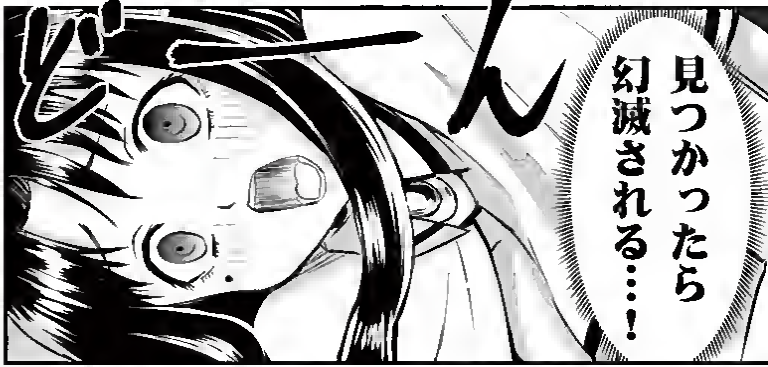
脳内シミュレーションは完璧！
トウカさんの驚く顔が楽しみです。

マジかよ！
参ったな～！
ワハハハハ!!
ふふふ。

ねえ、
もしかしてあの中
王女様が
入ってるんじゃない？
ギクッ

ほら、あの手を繋ってる王女様は影武者かなんかでさ。
顔も実は仮面で…
ふざけたこと言ってんじゃねえ！
あいつはスッゲー素直でいいヤツなんだよ！
俺達を騙すような真似するわけねえだろう！





1週間後、餓死寸前のマルグリットが荷箱から発見された。

所持魔晶石
「肉体強化」
超人的な
身体能力を得る。
「武器生成」
単純な武器を生成する。
込めた魔力量により
出現時間が変化。
リーランドより入手。
「????」
マルグリット持参の
魔晶石
「硬化」
肉体が鋼のように
硬くなる。
リーランドより入手。
「透視」
遮蔽物を透かして
見ることができる
ようになる。
効果は込めた魔力量と
魔力の質に依存する。
リーランドより入手。
「魔力視」
魔力を可視化する魔晶石。
魔力量から対象の
魔力レベルも推測可能。
コリンから奪った服に
たまたま入っていた。

王都を
旅立ってから
15日――
オオオ
動きが隙だらけですよ。
ただ
力任せに
振るのではなく、
わたくしの動きを
よく見て
攻撃を仕掛けて
ください。

そ…
そろそろ稽古は、やめにしようぜ。
こんなこと しなくても 聖剣巨大化して 叩き潰しゃあ、どんな相手も一撃よ。
あんたの魔力レベル、レベル3まで下がってるみたいだけど？
コリンから奪った魔力視の魔晶石。
え…？
王都出発するころはレベル9くらいあったはずだろ…？
いくらなんでも減るの早すぎねぇ…？

日常生活での魔力消費に加え、トウカさんは日々肉体を再生し続けなくてはならないんですよ？
むしろかなり長持ちした方ではないでしょうか？
…

マルグリットが持ってきたソーマの雫は？
あと5本です。

まずいぞ！グラグラしてたら また腐った身体に 逆戻りじゃねーか！
さっさと 地獄の門に行って、旅を終わらせねーと！

駄目ですよ！トウカさん！ソーマの雫だけを 頼りに地獄の門へ 向かうのは危険です！
今は焦らず 魔力を必要としない 戦い方を身に着けるべきです！
刺術なんて 必要ねーよ！
い、いざとなりゃ 落とし穴に 落とせば万事解決よ！
そんな 勇者様らしくない 戦い方、わたくしが 許しません！

王女様…
諦めた方が
いいですよ。

トウカは自分から
興味を持った
ものしか、
まともに覚えようと
しませんから。
ずっと農夫
やってんのに、
大根以外は
育て方すら
知らないし。

は！

見てよし
食ってよしの
万能食だからな！
大根さえ
ありゃ生きて
いけるんだよ！

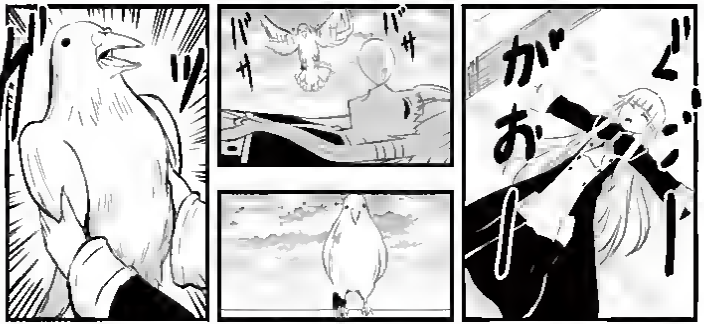
だいたいよー、
マルグリットこそ
こんなとこで
俺に稽古つけてる
場合じゃねーだろ。
今頃王都は
お前がいなくなって
パニックに
なってるんじゃねーの？

いえ、わたくしの侍女が
影武者を
やってくださってるので
問題ありません。
アイザックと二人で
うまく誤魔化して
くれてることでしょう。

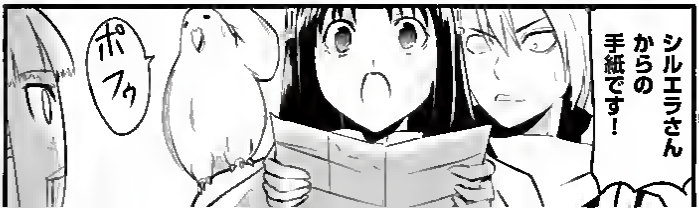
それに…
アイザックに
教わった様々な
戦闘技術は――
世界を救うためにこそ
使うべきだと思うのです。

自ら前線に
立つ王女か。
父親譲りの
勇敢なお姫様だぜ。
こりゃ
俺の出番も
ないかもな。

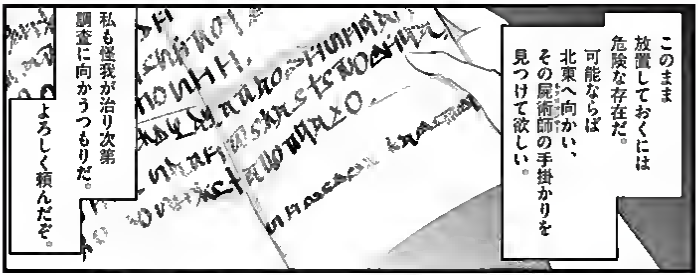
世界の命運は
お前に託したぜ。
あんたも
戦うのよね…？


ぐごごー
がおー
バサ
バサ

トウカ殿！
トウカ殿！
今夜は鶏肉が食えるぞ！
ホオオオー！！
てかしたぞ！アンリ！
ホオオオー！！
おいしそう！
ニワ
ニワ
ちょっと待ってください！


シルエラさんからの手紙です！
ポフゥ

トウカ殿へ
先日戦った
上級悪魔を
倒した時刻に、
王都から北東の方角へ
精神体が飛んでいくのを
宮廷魔術師が目撃したそうだ。
状況から考えて
リーランド以外の屍術使い、
もしくは本物の屍術師が
憑依屍術を使って
我々を襲ったと推測される。


このまま
放置しておくには
危険な存在だ。
可能ならば
北東へ向かい、
その屍術師の手掛かりを
見つけて欲しい。
私も怪我が治り次第
調査に向かうつもりだ。
よろしく頼んだぞ。

屍術師か…
アンリ…
何か知ってるんじゃ
ねえのか？
なるほどな。
憑依した男が
何者かは
わからなかった。
だが、もし私と
同じように
生き延びた者が
いるとしたら、
3年前の復讐を
考えている
可能性が
非常に高い。
オオオオ

「シルエラへ
テメーひとりで勝手に調べてろ」…と。
そらいけ！
そらいけじゃないわよ！一応調べに行くべきでしょ！

いやいや、俺は勇者だぜ？地獄の門の封印が最優先だろ。
もう全裸ボモやら骨マニアやらわけわかんねー変態どもの相手はうんざりなんだよ！
もっとこう…普通に悪魔と戦ったりとか勇者らしいことをするべきだろーが！
……それもそうね。

王都から北へ8日に位置する町――
「モアラン」

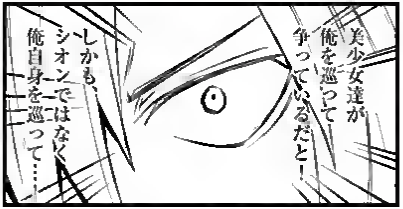
おい…
ちょっと待て…
なんだこれは…
トウカさんは
勇者様なんですよ？
きちんとした食事の
作法を身に着けて
いただかないと。
見ててください。
ナイフとフォークは
こう使います。
速すぎて
見えねえよ！

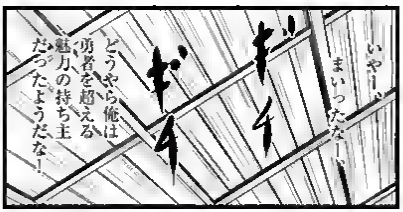
まったく…
豪華な調度や食器まで
用意して…
ここ…
田舎町の
酒場だぜ？
周りに変な目で
見られてんぞ。
よそはよそです！
トウカさんには
立派な勇者様に
なっていただかないと
困るんです！
困るって…
なんで
困るんだよ…
封術はまだしも
食事の作法なんて…

この旅が終われば、
城での生活が
待っているのですよ…！
わたくしは…
あ…
貴方と結婚しなくては
ならないのですから…！
待て…
俺はこの旅が終わったら
元の姿に戻るんだぜ？
どうせ勇者じゃ
なくなるから、
その話も
なくなるだろーが。
そ、それでも
貴方が世界を救えば
貴方が勇者様として
称えられるのです！
そうに決まって
おります！
そうに
決まってるって…
どっちにしても
俺はそんな称号放棄して
元の生活に
戻るつもりだぜ？
そうだぞ！

トウカ殿は私と
スローライフを送ると
決まってるのだ！
城になんて
連れて行かせないぞ！
だ…駄目です！
これは国王の
命令ですよ！
国家に叛逆する
おつもりですか！

な…
なんだこの状況…


美少女達が
俺を巡って
争っているだと！
しかも、
シオンではなく
俺自身を巡って……


いやー、
まいったなー
ギチ
ギチ
どうやら俺は
勇者を超える
魅力の持ち主
だったようだな！

こうして、あの案外、旅が終わるころには
世界中の美少女達が
俺を巡って
争っているのかもしれん
トウカ様は
私のモノよ！
我こそは初
そんなっ
女の子に
身体がっ
ギチ
ギチ

……
ギチ
ギチ

ちょっと待て！
なんで綱引きみたいになってんの!?
なんで町の人達まで参加してんの!?
ワーッショイ
ワーッショイ
ワーッショイ

俺はこの少女を応援するぞ！
俺はこの娘だ！
みなさんありがとうございます！
ありがとうございますじゃねえ…！
ギィ
ギィ

ちぎれる！
ちぎれる！
ぎゃあああぁ…!!
グイッ
……

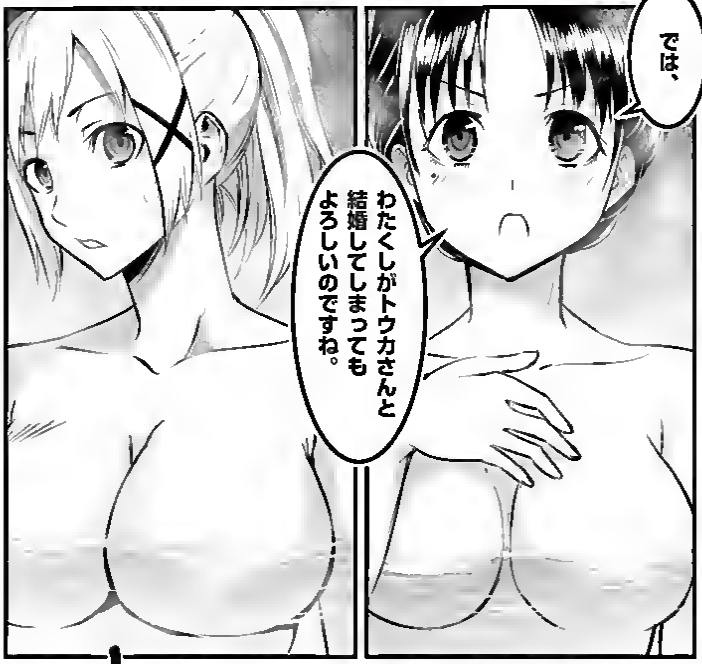
しょーじき…
信じられないわ…
正気なんですか、王女様…
あんな男のどこがいいんです…？
？
あんな男とは…
トウカですよ！トウカ！
本気で結婚するつもりなんですか!?
て、てすから…結婚は王女としての義務で…！
12

でも…
トウカさんは
ああ見えて優しくて、
いつも笑顔に
させてくれて…
それにわたくしの命を
救ってくださいました…
トウカさんが
相手ならば…
わたくしは
義務を受け入れても
構わない…

命を…
救った…
アクー

そういえば
ユナさんの方こそ、
トウカさんのことを
どう思っているの
ですか？
たしか
幼いころからの
お知り合い
なのですよね？
何も思って
ないですよ。
ただの
クサレ縁です…
クサレ縁……！
でも
トウカさんが倒れた時、
ユナさんは真っ先に
悪魔に立ち向かって
いきました。
わたくしは…
ただうろたえる
だけでしたのに…
何でもない
人のために、
あんな行動は
普通できません…

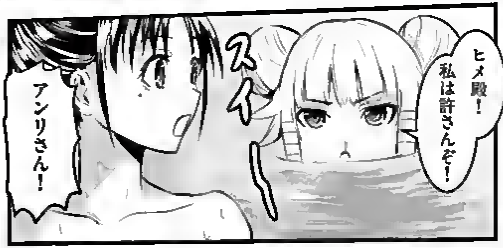
そ、
そうですね…
まあ出来の悪い
弟くらいには
思ってますよ。
それだけ…!!
それだけです!!


では、
わたくしがトウカさんと
結婚してしまっても
よろしいのですね。

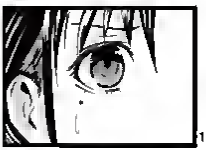
ジャ

さっきから
何が言いたいん
ですか…！
勝手にすれば
いいじゃない
ですか…！

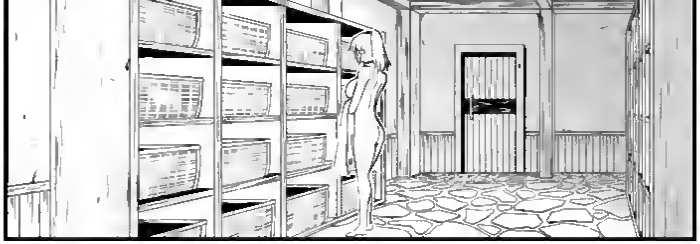
ユナさん！


ヒメ殿！
私は許さんぞ！
スイ
アンリさん！

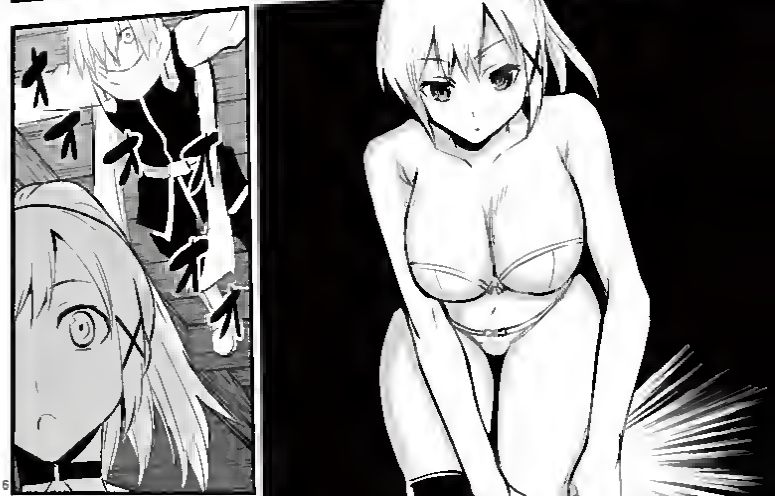
ふふ…
じゃあわたくし達
ライバルですね。
ライバルじゃないぞ！
仲間だぞ！
アンリさん！



15

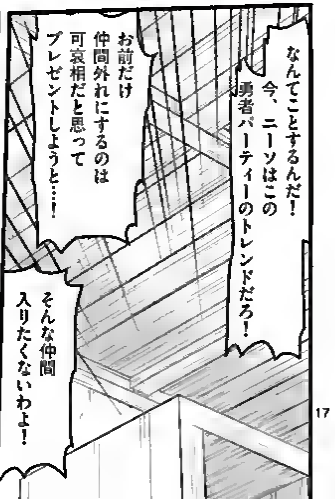


なんでイライラしてるんだろ……
私……
何でもない人のために、あんな行動は普通できません……
違うわ！
そんなんじゃない……！
私が好きなのは勇者様なんだから……！



ま…
待て…！
風呂は
覗いてない！
覗いて
ないから！
着替えは
思いっきり
覗いてんじゃ
ないの！
違うんだ！
忘れ物届けに
来ただけなんだ！

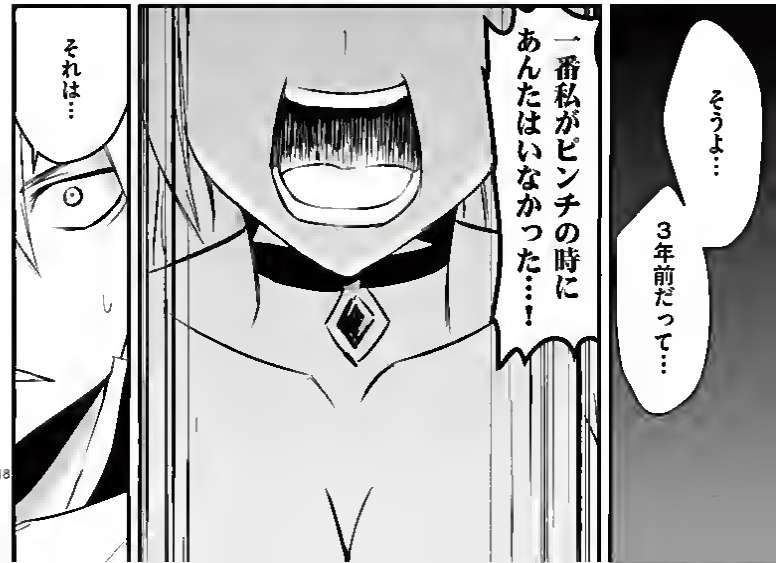
忘れ物って
これのことかしら…？
パラ
パラ
ああああ！
ニーソがあ！


なんてことするんだ！
今、ニーソはこの
勇者パーティーのトレンドだろ！
お前だけ
仲間外れにするのは
可哀相だと思って
プレゼントしようと…！
そんな仲間
入りたくないわよ！

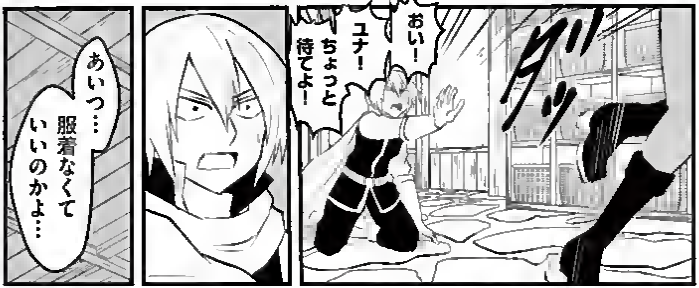
いつもいつもいつも
勇者様の姿で
変なことばかり！
ほんっと
イライラする…！

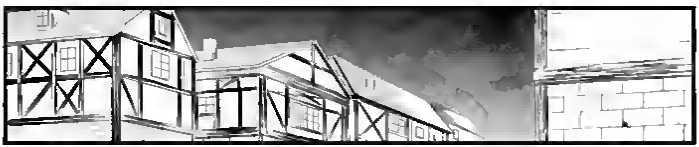
ゆ…勇者様って…
いつまで
あいつのこと
引きずってんだよ。
もうあいつはこの世に
いないんだぜ？
いつまでも
引きずるわよ！
勇者様は
命の恩人
なんだから！

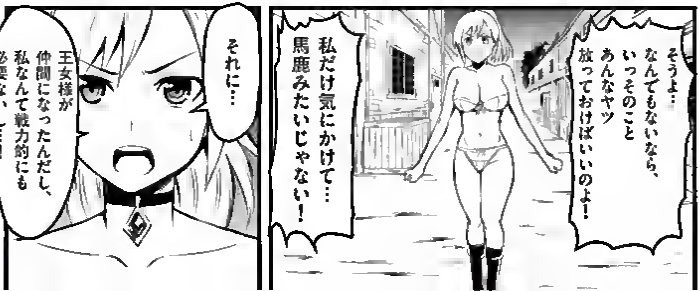
それに比べて…
いつだってあんたは
肝心な時にいない！
リーランドに
捕まった時も
あんたは二日間
遊び呆けるだけ…！
いや…
あんなことになってるって
知ってりゃ助けに行ったって！
そりゃ…悪かったと
思ってるけど…

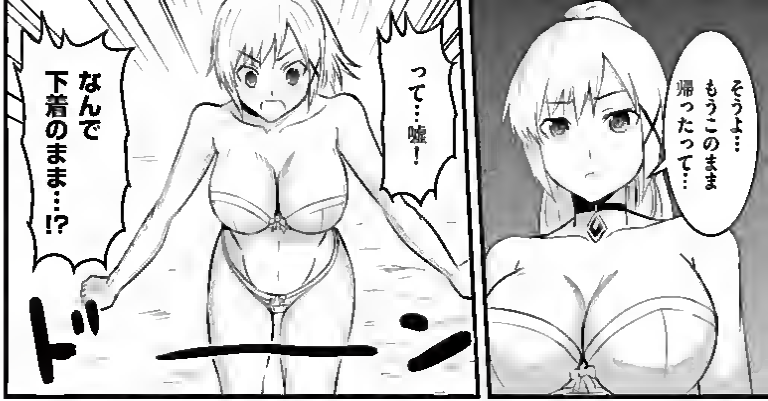

そうよ…
3年前だって…
一番私がピンチの時に
あんたはいなかった…！
それは…

ずっと一緒にいるのに…
私のことだけどーでもいいわけ…!?


おい！
ユナ！
ちょっと待てよ！
ダッ
あいつ…
服着なくていいのかよ…



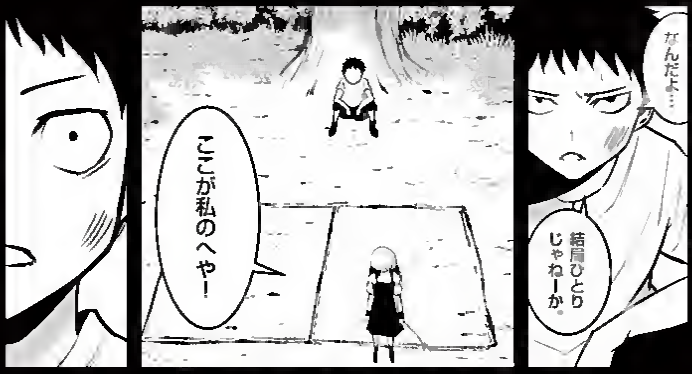

そうよ…
なんでもないなら、
いつそのこと
あんなヤツ
放っておけばいいのよ！
私だけ気にかけて…
馬鹿みたいじゃない！
それに…
王女様が
仲間になったんだし、
私なんて戦力的にも
必要ないし…！


そうよ…
もうこのまま
帰ったって…
って…嘘！
なんで
下着のまま…!?
ドーーーン

え？
おおおおおおお
な…！
何…!?
ううううう
おおおおおお
変態…！！
近寄らないで！
いや…
この場合、
私も変態…!?

カッ
アアアア

第27話▶感染
どーしてそんなところにひとりでいるの？
帰りたくねーんだ。
オヤシが殴るから。
ここがトウカのへや！
ガリ
ガリ
何してんだよ



第27話▶感染

なに…！

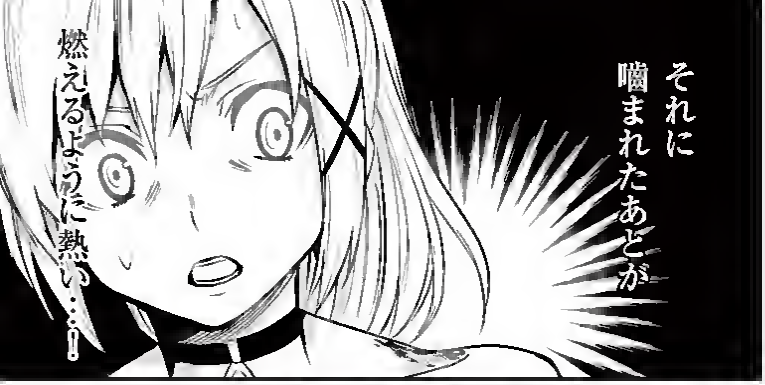
すんのよ！
おおおおおお
ちょ
ちょっと何!?
何なのよ…！

ひいいいい！
変態イイイイイ!!

変態が多すぎる…！
でも…いくらなんでも…

いったいどうなってんのよ…!?
たしかにこのカッコじゃ襲われても仕方がないのかもしれないけど…

っ…！
頭が…
ズキン
ズキン

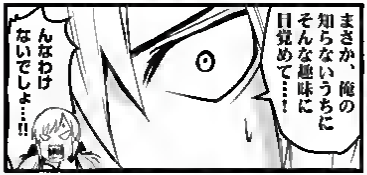

それに
噛まれたあとが
燃えるように熱い…！

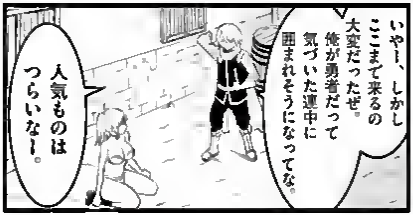
どうして…
今の町の人達…
ただの変態じゃないわけ…？
もう…
トウカ達には頼りたくない…
でも…
どうすれば…

おい！
ユナ！
大丈夫か！
…！

なんで…
ここで来ちゃうのよ…
あんなに
突き放したのに…

なんでって、
お前が服着ないで
飛び出したから
じゃねーか。
もしかして
下着のままが
良かったのか…？

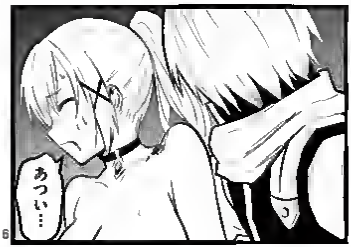

まさか、俺の
知らないうちに
そんな趣味に
目覚めて…！
んなわけ
ないでしょ…!!


いやー、しかし
ここまで来るの
大変だったぜ。
俺が勇者だって
気づいた連中に
囲まれそうになってな。
人気ものは
つらいなー。

噛みつこう
としてきた変な
ヤツもいたが…
トウカに
まで…!?

やっぱり
この町の住民は
変態なんかじゃ
ない…
化けも…

うラッ！
おい！
ユナ！
どうした！


あつい…

あついの…
暑い…？
下着なのに暑いって…
さらに脱がせてって…
ああ…！
あっ…って
本気かよ！
まさかユナの奴！
俺を誘ってんのか…!?
うう……！

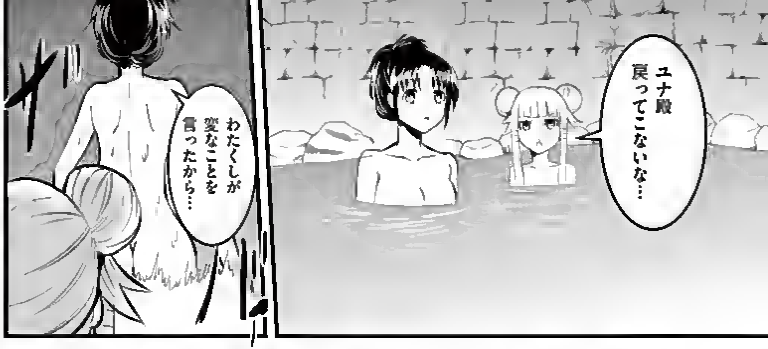
「うん」…
だと…？
オイオイオイ…
俺の心を読んで
返事しやがったよ……！
これが俗にいう
心と心が通じ合うって
ヤツか……！

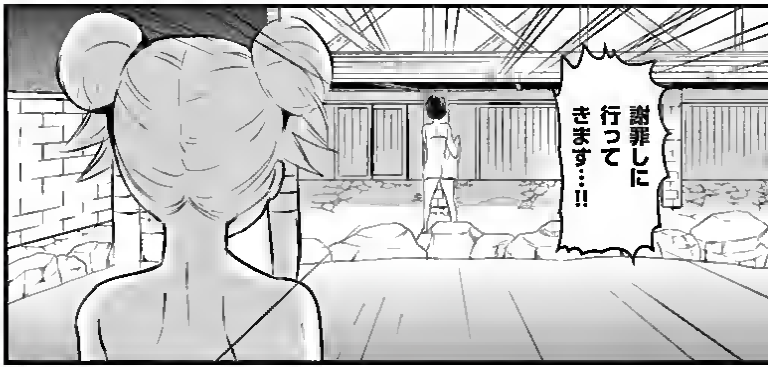
なんだよ…
さっき怒ってたのはヤキモチだったってわけだな
ったく
糸目じゃねえな
そうか…
ついに来てしまったのか
ハァ
ハァ
いよいよユナと一線を越えるときが…!!
…って、待てよ…
これ勇者の身体じゃん…!

この身体で一線を
越えちまったら、
勇者にユナを
奪われるって
ことじゃねーか……。

クソ…
どうすればいいんだ
死してなお、
俺とユナの恋路を
邪魔するとは！
なんて卑劣な
野郎なんだ
勇者シオン
ゲッ
おおおおおおおお

なんだよ！
こんな
タイミングで！
サインは
やらねーぞ！

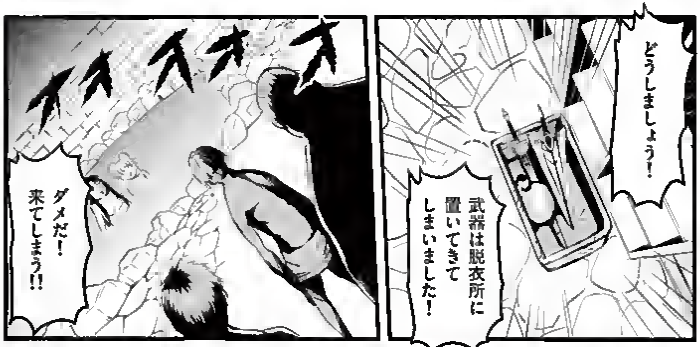

ユナ殿
戻ってこないな…
わたくしが
変なことを
言ったから…

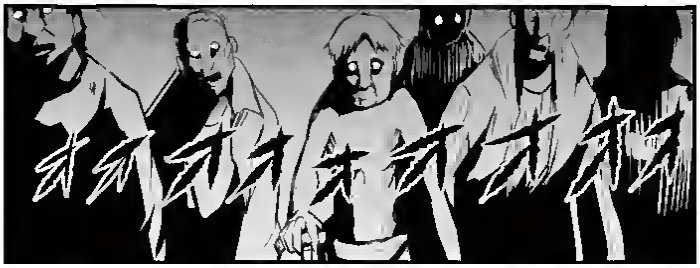

謝罪しに
行って
きます…!!

えっ!?
ぬっ

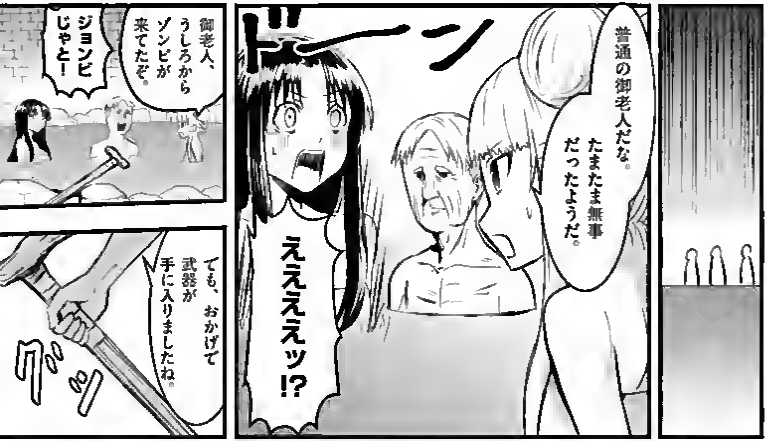
あ、
あれ？
ここって
混浴でしたっけ…？
ヒメ殿！
下がるのだ！
あの者達
様子がおかしいな…
なんだか正気を
失っている
ようです…！
まるでゾンビ…！！

ゾンビ……！
…まさか屍術!?


どうしましょう！
武器は脱衣所に置いてきてしまいました！
ダメだ！来てしまう!!



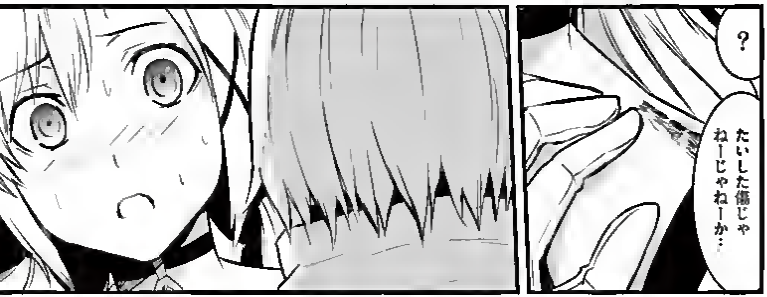
はぁ～
いい湯じゃ～


普通の御老人だな。
たまたま無事だったようだ。
ドーン
えええええッ!?
御老人、うしろからゾンビが来てたぞ。
ジョンビじゃと！
でも、おかげで武器が手に入りましたね。

この杖お借りしますね。
なんじゃと！
わたくしが道を切り開きます！
ドボー！
アンリさんはその隙に脱衣所にある武器を…！

オオオオ
形状変化…
〝壁〟！
化け物ってどういうことだよ!?
俺のファンじゃなかったのかよ！
そんなわけ…ない…でしょ！
どう見てもまともじゃないじゃない…！
ユナ…
お前やっぱ様子おかしいぞ…

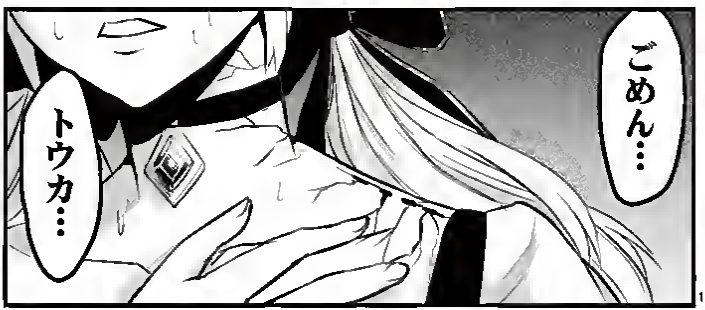
やつらに噛まれたの…
噛まれた!?
傷はどこにある…!
左肩を…


？
たいした傷じゃねーじゃねーか…

ズズ
まさか 私…！
！
トウカ！
聖剣を元に戻して！
戻してって…
そんなことしたら
襲われちまうだろ！
いいから!!

て、このあと
どうすんだ!?
何か
策があるん
だろ!?
ヒュルン
!!!

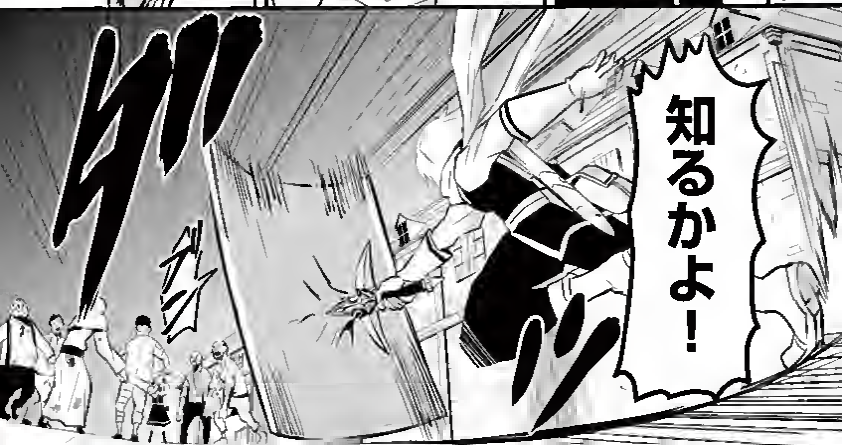
おい！
オオオオ
いきなり何すんだ！
逃げて！
このままじゃあんたのことを襲ってしまう！
えっ？襲うって、ここで!?
オイオイ、いくらなんでも時と場所をわきまえろよ！
そっちの襲うじゃないわよ！


ごめん…
トウカ…

どうやら私…
こいつらみたいに
なっちゃうみたい…

噛まれたら感染
するみたいなの…
だから私を置いて…

はああ!?
ふざけんなよ!
置いていけるわけねーだろうが!
いいじゃない!
どうせ…
ここであんた達とはお別れするつもりだったし!
お別れって!
なんでそんなこと…!
もう…
あんたと一緒にいたくないってことよ…
あんたのこと…
嫌いになったって言ってんのよ…ッ!!
だから…!
いいでしょ!
早く
私の前から
消えてよ!


知るかよ!

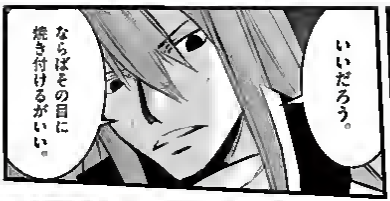
テメーが
化けものになろうが、
俺を嫌いになろうが
関係ねえ！

そんな
くだらねーことで
お前を置いていく
わけねーだろうが！

手を貸してやろうか？

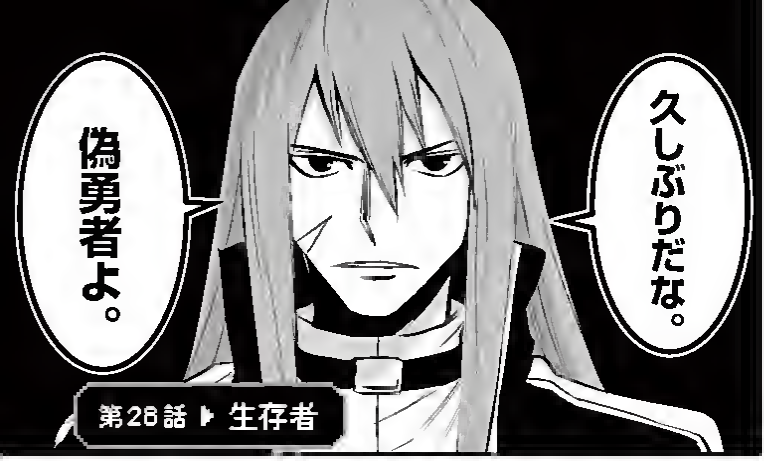
ただし、貴様が偽者の勇者だと認めたらな。
オ
オ
オ
オ

はぁぁ!?
誰だか知らねえが、み…認める!
認めるから助けてエ!!


いいだろう。
ならばその目に焼き付けるがいい。

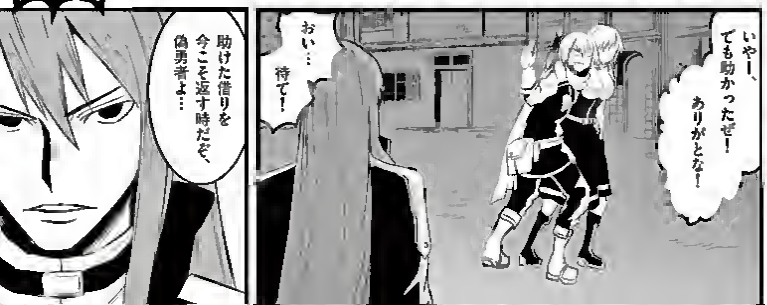
この双槍のペラーゴの華麗なる槍さばきを。

ドバウッ
……
おい
どうした…？
ドッ
絶望した…


久しぶりだな。
偽勇者よ。

第26話 ▶ 生存者

久しぶり…？
どこかで会ったっけか？
勇者の知り合いか…？
双槍の…
ベラーコさんよ…！
アルダ砦で最初の悪魔にやられたあの…！
ああ…！
思い出した！
あの最初にやられたヤツね！
そうッ！
誰よりも早くやられた人！
中級悪魔のワンパンで沈んだ…あの…！
そう…！
あっさりと…！
早々に…！
もうやめて！


いやー、でも助かったぜ！
ありがとな！
おい…
待て！
助けた借りを今ここで返す時だぞ、偽勇者よ…

オオオオオオオオ

馬鹿がテメーは！
揶揄するくらいなら、あんな高いとこ上ってんじゃねえー
馬鹿は貴様だ…ヒーローというものは決まって高いところから登場するものだ…
これは宿命…！
そもそもヒーローはその程度で揶揄しねえ！

大丈夫…なの…？
重いなら…私を…下ろして…
はッ！
今までは腐ってたり骨だったりしたが、今の俺の身体は全盛期の勇者の身体！
このくらい屁でもねえ！
ついでにフトモモ触れるしな！

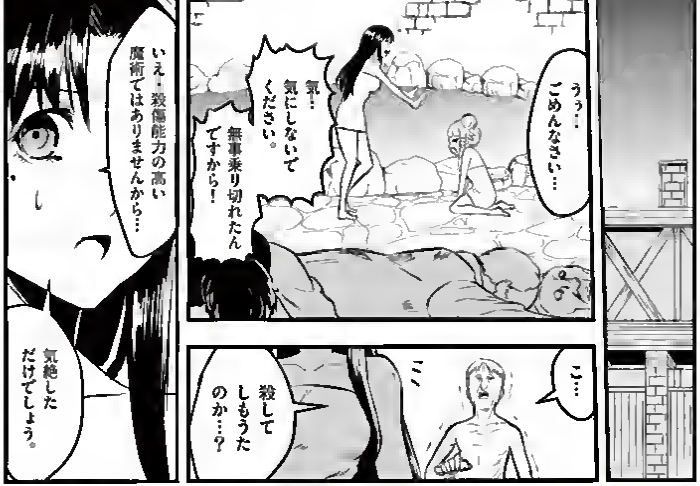
…とは言ったものの…
このままじゃ
捕まっちまうな…
噛まれたら
即ゾウ下の連中に
挑むのもリスクが高え…
と、なれば…
ユナ！
お前の
魔晶石
貸してくれ！
えっ？
肉体強化!!
アイアングレンデル

高いところも悪くねぇ。
確かに…
はあああっ！

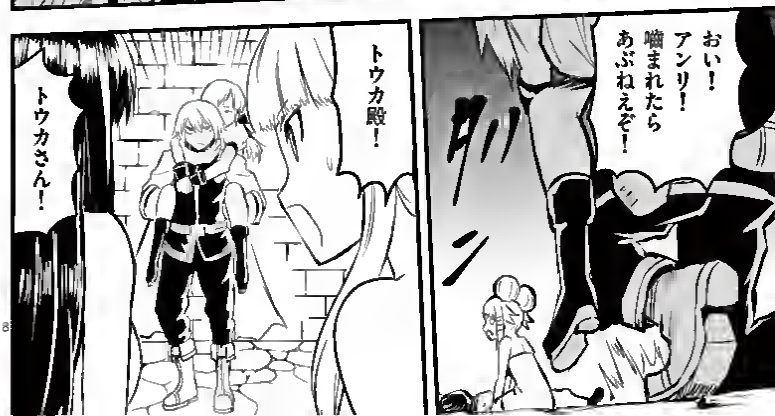
武器！
ぶき！
これは
リーランド殿の！
武器生成（アインサイル）！
5
ヒメ殿！
今助けるぞ！
ああっ！
あ！
アンリさん!!

わ、
わたくしの方にも
魔晶石を！
む、
わかったぞ！
とあっ!!
ドッ
アンリさーん!!
じょうちゃん！
ぷる
ぷる

ありがとう！
おじいさん！
ピキッ
ピキッ
氷の散弾！
アイシクルレイン

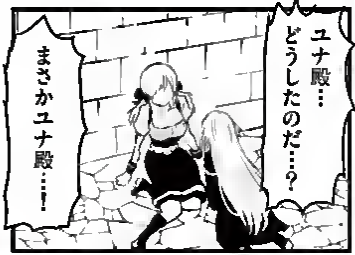

ここ…
ここ
殺してしもうたのか…？
気絶しただけでしょう。
いえ、殺傷能力の高い魔術ではありませんから…
うぅ…
ごめんなさい…
気…
気にしないでください。
無事乗り切れたんですから！

ゾンビが…
気絶…？

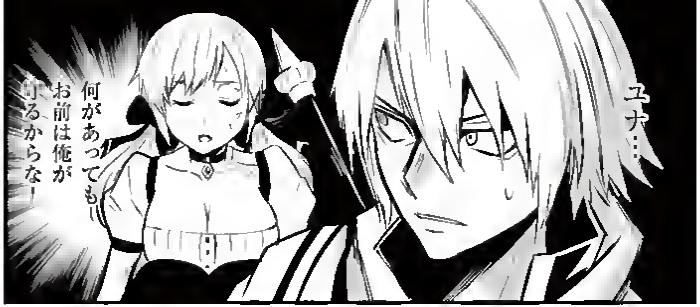

おい！
アンリ！
噛まれたらあぶねえぞ！
トウカ殿！
トウカさん！

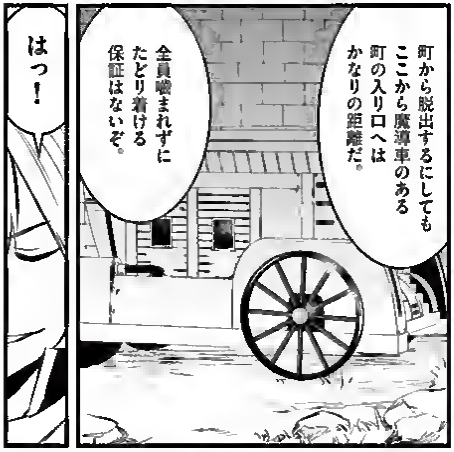
噛まれたら…
化け物になる…？

ああ…
そいつらみたいに人を襲うようになる。


ユナ殿…どうしたのだ…？
まさかユナ殿……！

あ、ははは！湯冷めして風邪ひいちまっただけだって！　風邪うつるからあまり近寄らねー方がいいぞ！
むむ！確かにこれ以上鼻水を出すわけにはいかんな！
あぶねー！
いくらこの二人でも、ユナが化け物になるっつーことがバレたら何するかわかんねえ…


ユナ…
何があっても
お前は俺が
守るからな！


それで、
トウカ殿…
これから
どうするつもりだ？
町から脱出するにしても
ここから魔導車のある
町の入り口へは
かなりの距離だ。
全員噛まれずに
たどり着ける
保証はないぞ。
はっ！

元より俺は
この場に残るつもりだ…
元凶を見つけ出して、
全部解決するまではな…！

おおお！
トウカ殿が
自らやる気を出すとは！
まるで本物の
勇者様みたいです！
ならば町長の
屋敷へ行くぞ。

そこに生存者達がいる。

クソ…
俺達これから
どうなるんだ！
このまま全員
バケモンに
なっちまうのかよ！

全員
落ち着くんだ！
大丈夫だ！
何も心配
することはない！
ドット・バーンズ
モアラン町長

この屋敷は悪魔の襲撃に
備えて作った
強固な塀に囲まれている！
ヤツらが侵入してくる
ことなど絶対にありえない！
アアアー
オオオオ

勇者シオン!?

…

侵入者だ！
なにいい!?
ガッ

うおおおお！
勇者様だ！
ワアアア
勇者様が助けに
来てくださったぞお！

俺が助けた。
偽者だがな…
あの勇者シオンを
助けるなんて、
さっすが
ベラーコさんだぜ！
フッ…
まあな。
もうここで
俺達死んじまう
かと思った…！
勇者様！
ありがとう！

な…なんで…
あいつらがここに…
せっかくバレずに
逃げてきたのに…
それに、あの男…
まさか あの時いた
骨頭が勇者…？

あれ…
あいつ…
どこかで…
ギクッ
人違いか…

むむ…
あの者達は…
ギクッ
お丸の名はコリン！
ネズミだよ。
人違いか…

どうやらバレてないみたいっすね…
あとはあの女…

あのー、すみません！
念のため、噛まれてないか確認しといた方がいいんじゃないんすかね？
!?

特にそのお姉さん――
なんだかすっごく調子悪そうに見えるんすけど。

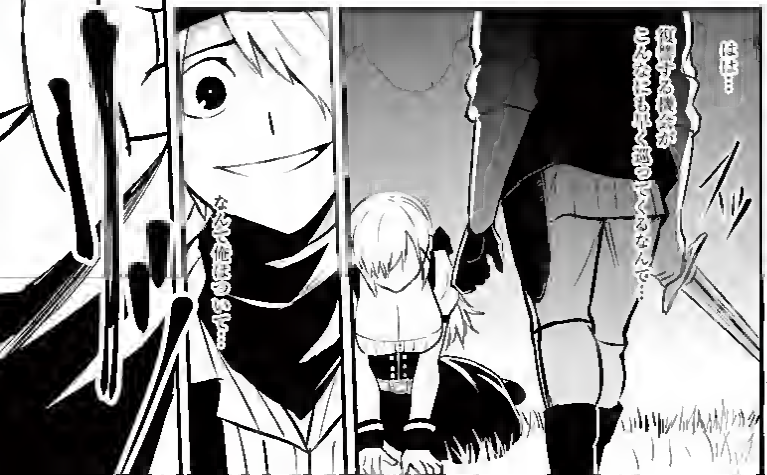
ちょ…ちょっと待て！
こいつはただの風邪だって！
誰一人
噛まれてねえから
調べる必要
なんかねーって！
勇者の俺が
保証する！
その反応…

黒っすね。

いくら勇者様の仲間とはいえ、
特別待遇はできないっすよねえ、
みなさん！
噛まれたヤツは殺しておかないと、
ここにいる全員が
危険に晒されてしまうんすよ。

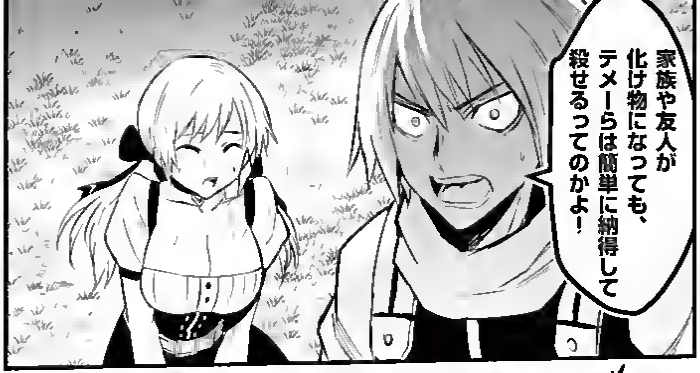
そ…
そうだ！
殺せ！
化け物は
殺せ！
私達を守るのが
勇者の役目でしょ…！！
殺せ！
殺せ！！

大丈夫っすよ。
俺が代わりに
やりますから。


はは…
復讐する機会が
こんなにも早く巡ってくるなんて…
なんて俺はついてるんだ

肉体強化!!
アイアン・クローデル
ガ!!
オオオ
コイツに指一本でも手ェ触れてみろ。
俺がテメーを殺す。

第29話▶憑依
ト…
トウカさん！
トウカ殿……！
も…
もしかして
ユナさん
本当に
噛まれて
勇者様……！
いったい何を……！
ふざけんな…
俺達を助けに
来たんじゃ
ねえのかよ！
ふざけてんのは
テメーらだろ……！

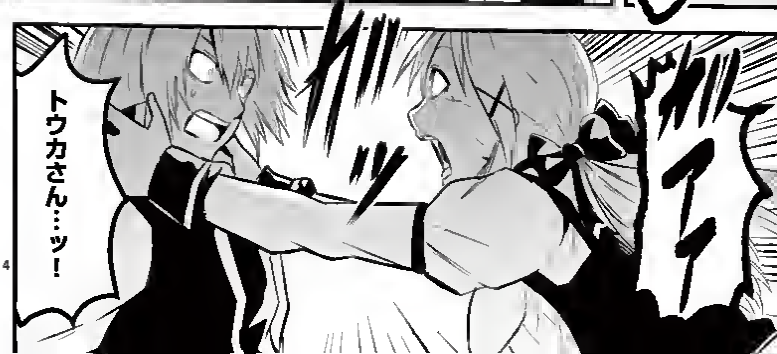

家族や友人が
化け物になっても、
テメーらは簡単に納得して
殺せるってのかよ！

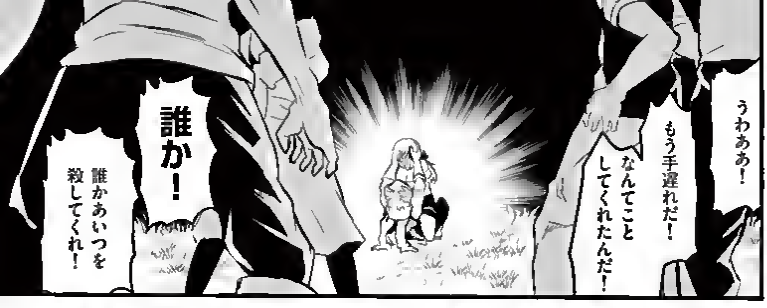
俺は無理だね……！
誰を敵に回そうが
大事なヤツの方を守る……！
絶対にユナに
手出しはさせねえ……！

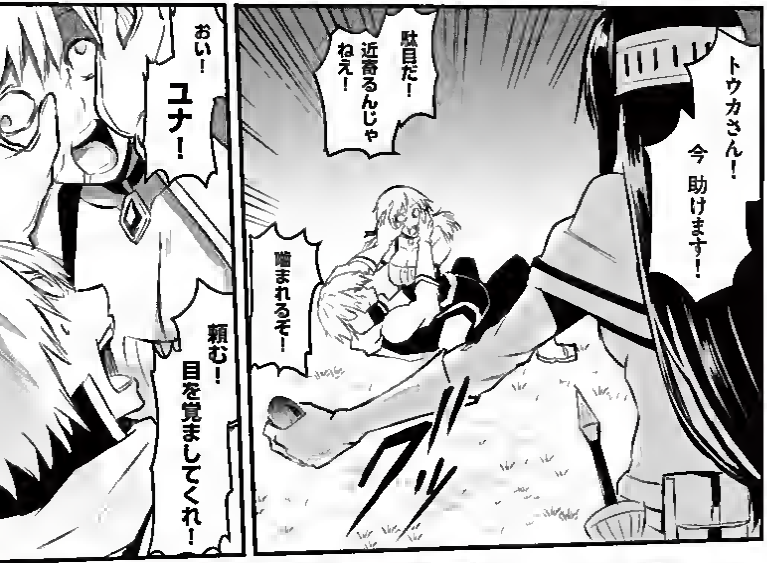
トウカさん！
剣を収めて冷静に
なってください！
マルグリット…
まさか、お前まで
ユナを殺せと…
そんなわけ
ないじゃないですか!!

ユナさんを守りたい気持ちはわかります！
でも…周りを見てください！
トウカさんはこれだけ大勢の人達を危険に巻き込もうとしているんですよ！
それは…
なぜ隠していたのだ？
私達がユナ殿を見捨てるわけがないだろう。
すまん…俺…
一人で焦っちまって…
とにかく今からでもユナさんを連れてここを離れましょう…！
ううううう…

ユ…
ユナ!?
ああああ…


トウカさん…ッ!


うわああ！
もう手遅れだ！
なんてことしてくれたんだ！
誰か！
誰かあいつを殺してくれ！

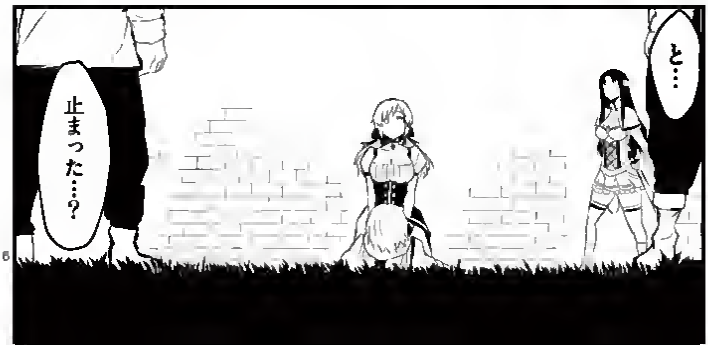

トウカさん！
今 助けます！
駄目だ！近寄るんじゃねえ！
噛まれるぞ！
おい！ユナ！
頼む！目を覚ましてくれ！

…試す価値はあるか…

遠隔屍術！
"アイン・ゲーデ"！！

フッ

ズ

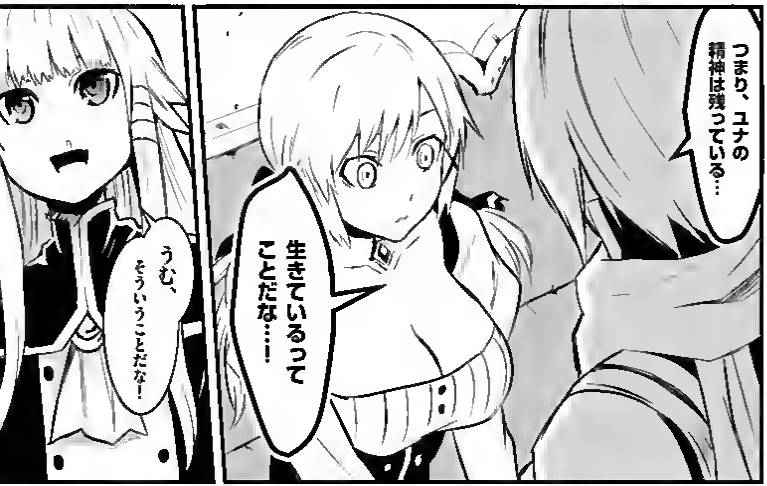

と…
止まった…？

ユナ殿はただの風邪だ。
そうだろう、ユナ殿。
コクリ
な…なんだよ！
じょ…冗談きつすぎますよ勇者様ー！
びっくりしたあ！
ど、どういうことなんだよ！
アンリ！

どうしてユナが
屍術で操れるんだよ！
まさか…
ユナは死…
いや
スッ
これでユナ殿の
眼を見てくれ。
アイン・ビディエル。
だ。
アイン・ビディエル…

これはユナ殿が
王都の戦いで入手した
魔力レベルを
視ることができる
魔晶石――
正確には、
実体のない
魔力や精神体を
可視化できる
魔晶石だ。
中心の球体が
ユナさんの精神体と
それを覆う
魔力の壁ですね…
この…
絡みついてる触手
みたいなのは
なんなんだ…？

それがユナ殿を
約変させた魔術。
おそらく魔術に
よって精神が
抑え込められ、
理性を失った
化け物のように
トウカ殿を
襲ったのだろう。


つまり、ユナの
精神は残っている…
生きているって
ことだな…！
うむ、
そういうことだな！

は…
はは…
良かった…
ん…？
じゃあなんで
魔術が…？

ふむ…
精神があるとはいえ、
魔術によって
弱められている状態。
おそらく精神を
失った状態…
つまり、死者の肉体と
近い状態にあったのが
うまくいった要因だろうな。
なんとなく
試してみた
だけだがな！
フハハハハ！
わかってて
やったんじゃ
ねーのかよ！
それで、ユナは
元の状態に
戻るのか…？

これが魔術によるものなら、
術者を捜し出し
魔晶石を奪うか、破壊すれば
戻せるはずです。
本当か…！

じゃあ、早くその術者を
捜しに行くぞ！
待ってください！
この暗闇の中、
まだ町に出るのは
危険すぎます！
そうだな。
ここは焦らず、
朝になるまで
待つべきだろう。
つっても…
その間ずっとユナのこと
制御できんのかよ
うむ…
…確かに睡眠中は、
退魔魔術を
使うことはできんな。

では、
私が憑依屍術で
ユナ殿に
憑依することに
しよう。

ユナに
憑依…？

遠隔屍術が可能なら
憑依屍術も可能だろう。
おそらく憑依しても、
敵の魔術は
私の精神を精神としては
認識しないはずだ。
精神が二つある状況は
本来ありえないからな。
？
アンリの精神体
ユナの精神体
つまり…
それって…！

アンリ…
俺をユナに憑依させてくれ。
トウカ殿を!?

アンリが自分の肉体から離れるってことは、遠隔屍術が使えなくなるんじゃないのか?
ああ、確かに、この身体がなければ他の屍術は使えん。
なら、正気を失った連中に遠隔屍術が有効な以上、お前が憑依するのは最善とは言えねえな。
ヤツらがここに襲ってくる可能性だってあるんだしな!

やはりな。

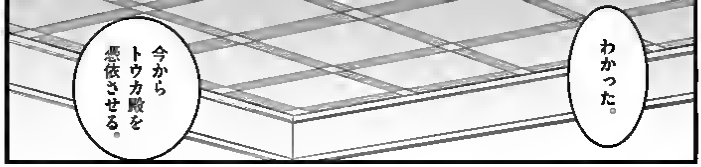
しかし…
以前にも言ったが、トウカ殿の魔力レベルでは憑依屍術には耐えられないと…
それなら…
コイツで魔力レベルを上げればいい。

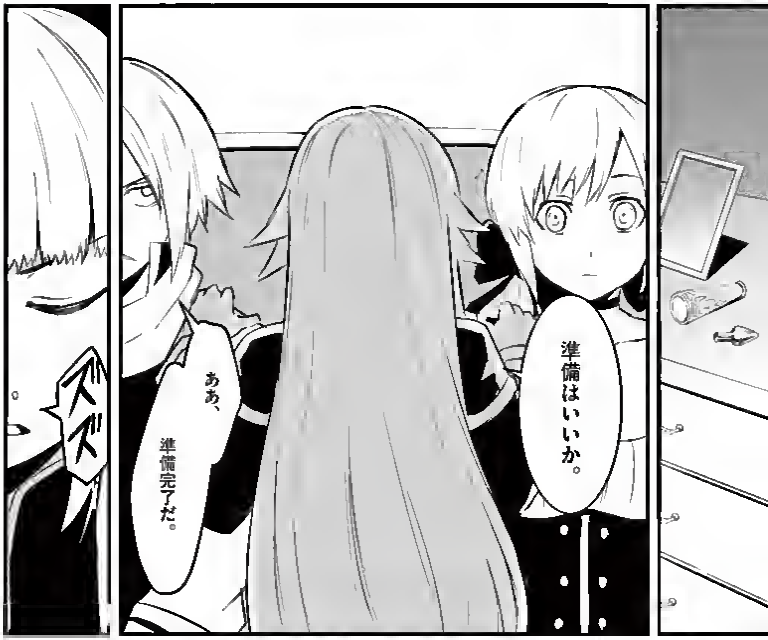
ソーマの拳……！
いけませんー
そんな貴重なものを
こんなところで
使ってはー

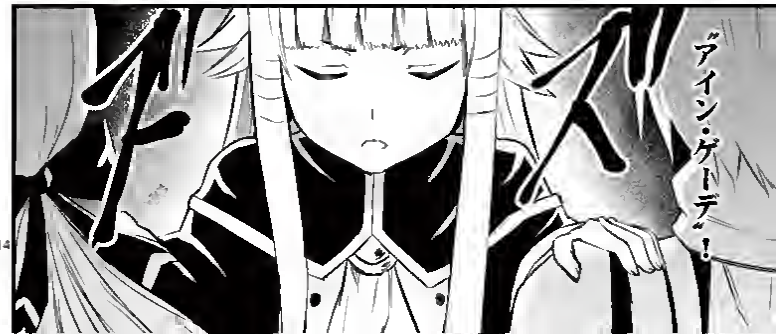
オイオイ、
王女様のクセに貧乏性か？
こういうものは
ケチケチしねーで
使っておくべきなんだよ。世界を救った後に
残ってても
仕方ねーだろ？

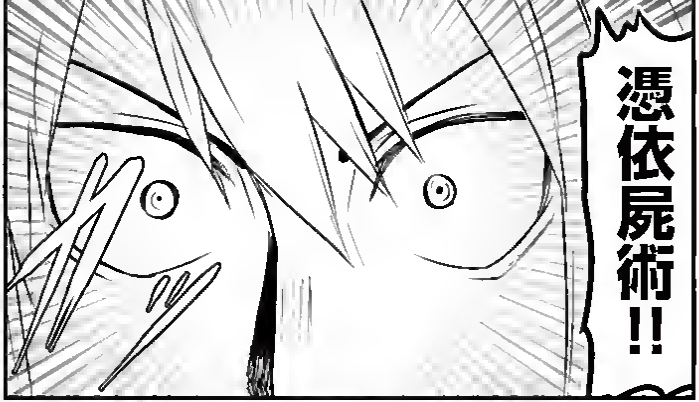
でも、わたくしが
ユナさんに憑依する
ことだって……！
万が一ユナのことを
知る人物が急に
現れたらどうするんだ？
ちゃんとユナに
なりすませるのか？
俺ならできるぜ。
ユナのことなら
なんでも知ってるからな！

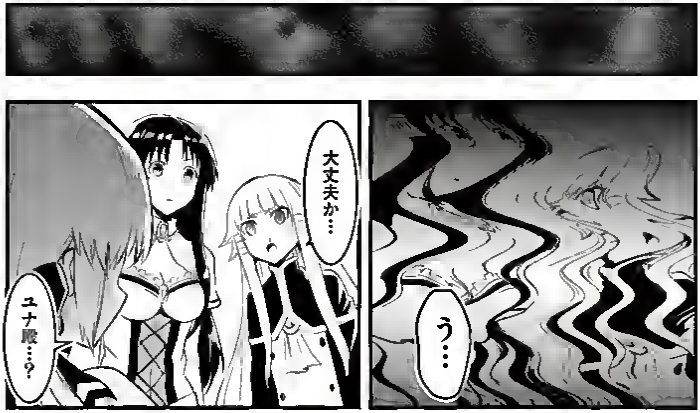
大丈夫だ！
下心は
まったくねえ！
俺を信じろ！
ユナを救うためには
これが最善の選択
なんだ……！

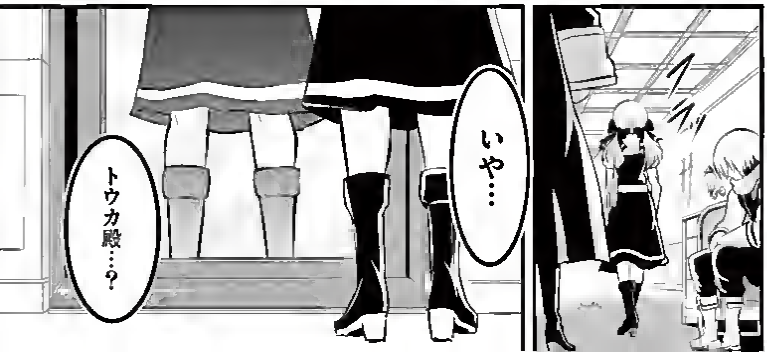

わかった。
今から
トウカ殿を
悪依させる。


準備はいいか。
ああ、
準備完了だ。
ズズ…


〝アイン・ゲーデ〟！


憑依屍術!!


う…
大丈夫か…
ユナ殿…?


いや…
トウカ殿…?

大丈夫だ…
問題ねえ。
これで…
ククク…
これでユナのフトモモは
俺の思うがまま！

第30話 ▶ ユナの身体

・憑依屍術
死体に精神そのものを憑依させ、
自分の身体のように自由に動かせる屍術。
術者以外の人間にも使用可能だが、
術者以外の人間は
自由に元の肉体に戻ることができない。

憑依時に大量の魔力を消費するが、
憑依後は魔力を消耗しない。
憑依した精神や元の肉体が破壊されると、
憑依者は死んでしまう。

・遠隔屍術
死体に魔力を注ぎ、
操作することができる屍術。
複雑な行動をさせる場合は
かなりの集中力が必要になる。
死体とは魔力の糸でつながっており
発動中は常時魔力を消費する。

術者から離れるほど魔力消費は高まる。
死体が破壊されても術者に
ダメージはない。

どうだ？
ちゃんと身体は動かせるか？
グッ
性別が違う分、少し慣れは必要そうだが、
感覚は完全に自分の身体って感じだな。
ククク…
このスケベボディ
ムッチムチのフトモモも俺のモノ…！
トウカさん！
何をやってるんですか！
ヒック

いやいや…
他に噛まれたところがないか探してたんだ！
ほら！
一応手当てしておいた方がいいだろ！
まあ、今のところケガしてないみたいだけどな！
いやー、良かった良かった！
…ごめんなさい！
ユナさんの身体に何か変なことをしようとしてるのかと…
マルグリット…
俺がこんな状況でそんな最低なことをするヤツに思えるのか？
俺は…
ユナを守りたいだけなんだ…
ごめんなさい…
あぁね！
バレたら消されるまでがところたったせ！
そうだ、慎重になれ…
俺はユナの身体に入ったんだ…
フトモモを愛でるチャンスは無限にある…！
まずはひとりにならねえと…

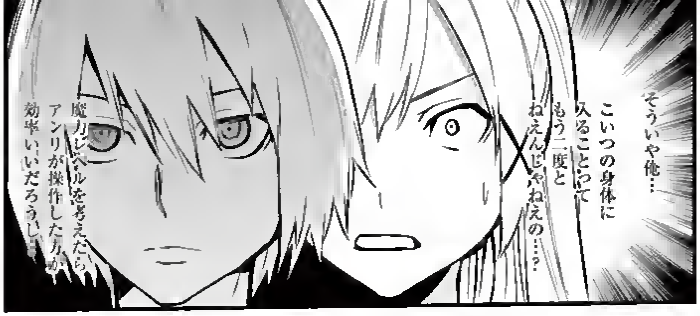
さーてと…
この屋敷に問題がねえか、一応見回りに行ってくるわ！
さりげなく
ごく自然に
ひとりになる…
な…！
おお！それなら私達も行くぞ！
そうですね。一緒に調べた方が、細かいところにも気づけますしね。
いやいや…やっぱ見回りはやめとこーぜ！ここにいる連中が今まで無事だったんなら、安全ってことだろ！
それに今日はもう疲れただろ？
ゆっくり休んで、明日に備えようぜ。
む…それもそうだな！
警戒しすぎでしたね。
さーてと…
寝る前にひとっ風呂浴びてくるか…
よし！今のは自然…
いける…！
風呂…!?
トウカさん！ユナさんはもうわたくし達と入りましたよ！
い…いや…
でもホラ…動いて汗かいちまったしな…！
それなら…

おい…
なんだこれ…
トウカさんに身体を洗われるのはユナさんも恥ずかしいかと思いまして…
二人でごしごし洗ってやるぞ！
チクショー！！
目隠しなんかされたら眺めることすらできねえじゃねえか!!

ひゃん！
ブシッ
大丈夫ですか！
もしかして傷に…!?
な…
はあ…
はあ…
なんだこの感覚…
だ…
大丈夫だ…
ク…ク…こりゃあいい！
これが女の身体か…！
ヌオオオ
ブシュッ
ブシュッ
ブシュッ

ちくしょおお！
なんで！
俺が！
こいつの身体を!!

私に遠隔操作で洗われるより、今まで通りトウカ殿が洗ってやった方がンオンも恥ずかしくないだろう。
恥ずかしくないだろうって、もう死んでるっつーの！
だいたい自分の身体として洗うのと、他人の身体として洗うのとでは わけが違うんだよ！
…ん？
他人？


そういや俺…
こいつの身体に入ることってもう二度とねえんじゃねえの…？
魔力レベルを考えたらアンリが操作した方が効率いいだろうし…

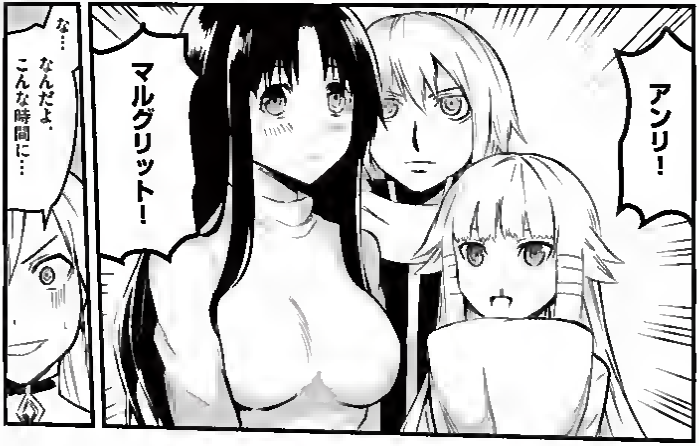
ははは！
てことは、ついに俺は勇者の使命から解放されたのか!!
ふるさとをめざすみたいなこと言ってたし…
元に戻したら、俺も一緒に村に帰るかー
しかし
ちょっと
人だかりができてるな

まぁいいか
んなことはその時考えればいい
そんなことよりもだ。あいつらの目を逃れたこの状況…
今こそ、ユナのフトモモを…!!
ムラッ

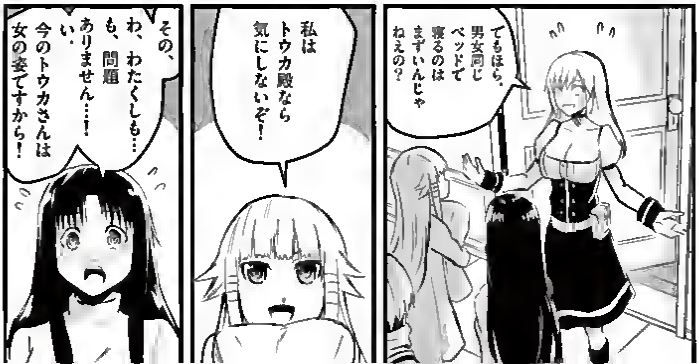
おい…なにこっち
ジロジロ見てんだよ…
偽勇者が
変なことを
しないか
気になってな。
俺が見張って
やるから
安心しろ。
お、俺も
見張る…
……
クソ…
あいつらの視線が気になって
何もできなかった…
入浴も済ませたことですし、
そろそろ寝ましょう。
これは
トウカ殿の
部屋のカギだ。
町長殿が
一人一部屋
用意してくれたぞ。

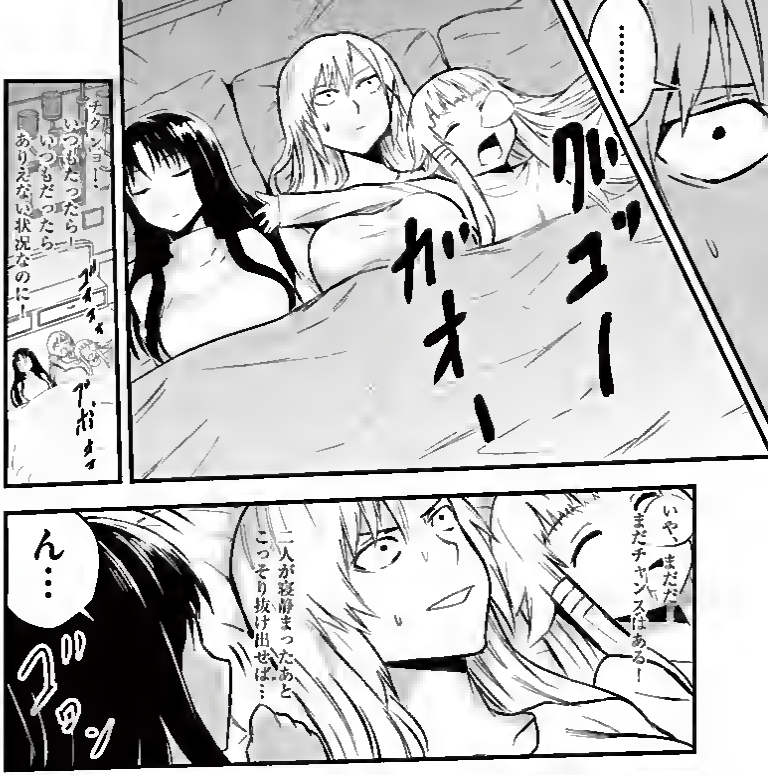
シャッ
ガチャン
ガチャ
ククク…ようやく…
さあて、待たせたねフトモモちゃん…
ニーソもさっき風呂場で勇者のポケットから回収済みよ。
今度こそひとりだ!!
夜が明けるまでめちゃくちゃに可愛がってやるぜ!
コシコシ

クソ…
誰だ
こんな時に…
ピンポーン


アンリ！
マルグリット！
な…
なんだよ、
こんな時間に…

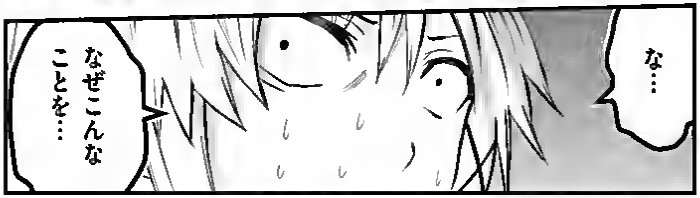
ここがずっと
安全とは
限りませんし、
万が一のことを
考えて、
一緒の部屋で
寝た方がいいと
思いまして…


でもほら、
男女同じ
ベッドで
寝るのは
まずいんじゃ
ねえの？
私は
トウカ殿なら
気にしないぞ！
その、
わ、わたくしも…
も、問題
ありません…！
い、
今のトウカさんは
女の姿ですから！


……
グゴゴー
ガオー
ガオー
ガオ

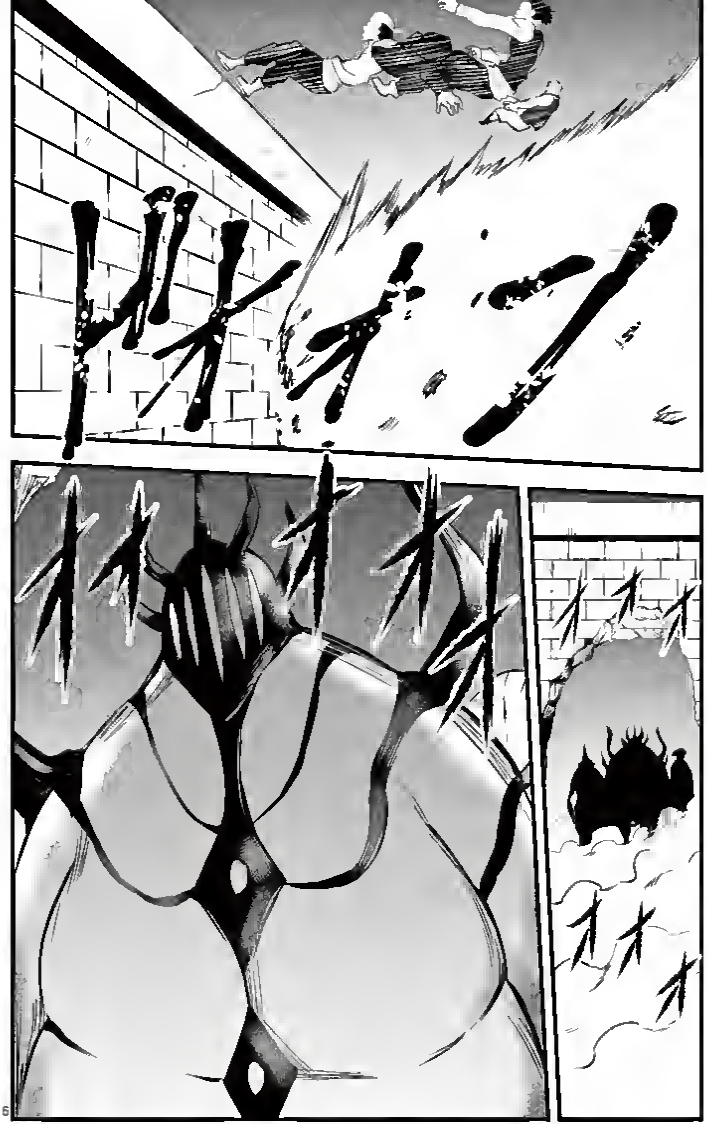
ニヤ…ニヤ…
むしろラッキーじゃねえが…
ユナのフトモモも
マルグリットのフトモモも
同時に堪能できるんだからなあ…
ゴゴゴ

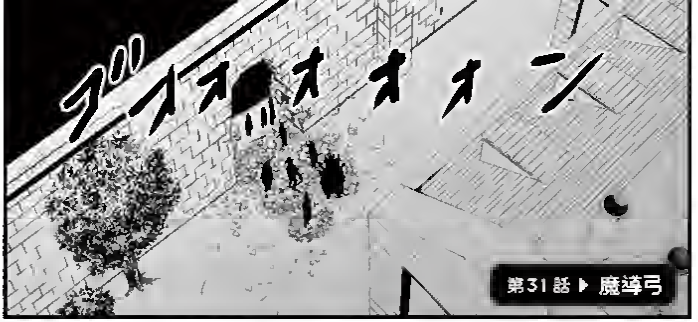
〝ファロム流捕縄術〟――
「転瞬縛(てんしゅんばく)」!!
王女として
当然の嗜みです。


な…
なぜこんな
ことを…

ユナさんを守りたい
気持ちは、
わたくしも
同じですから。
ニコッ

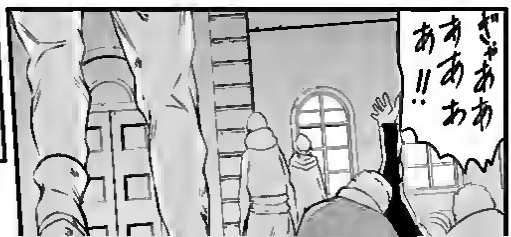
ははは！
ああああしか言わねえぞ！こいつら！
悔しかったら登って来いよ！
うううううう
！
おい…
あれ…

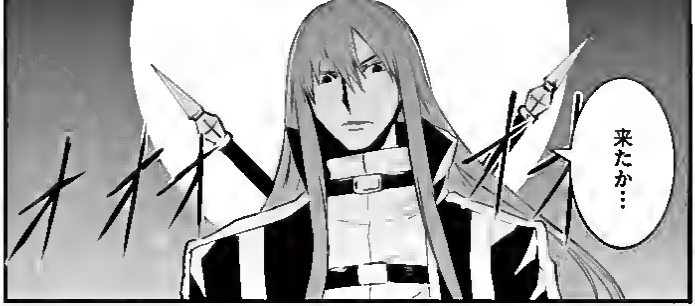

ドオン
16


ブオオオオオン
第31話▶魔導弓

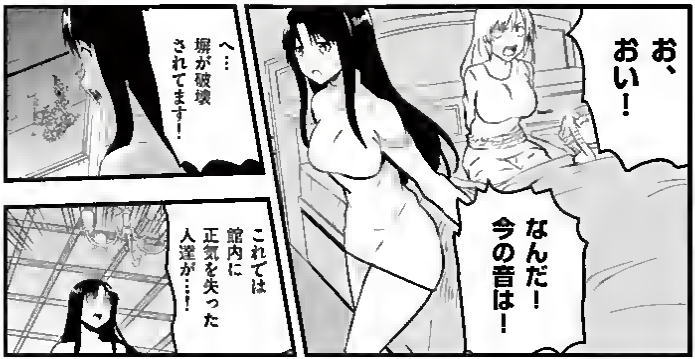
オオオオオオ

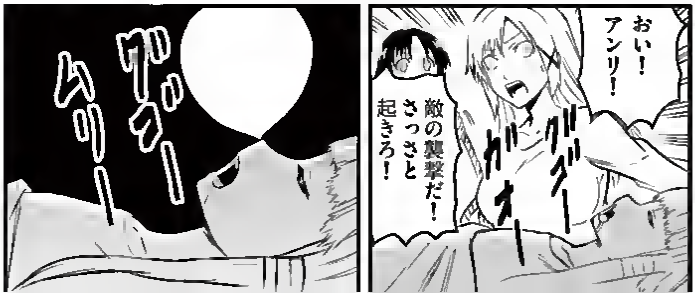
ちくしょう…！
た…！
助け…！
ビュー
オオオオ


ぎゃあああ!!


来たか…

第31話▶魔導弓


お、おい！
なんだ！今の音は！
へ…塀が破壊されてます！
これでは館内に正気を失った人達が…！


おい！アンリ！
敵の襲撃だ！さっさと起きろ！
グゴー
グゴー

無理じゃねえよ、起きろや。
ゴゴゴゴ
やあああああ！

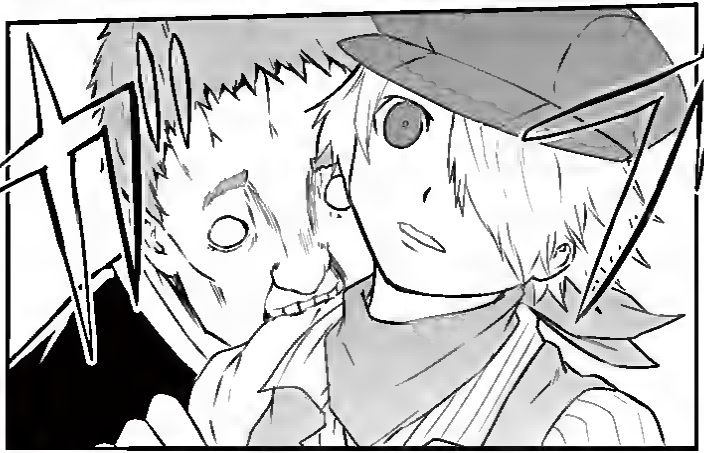
キャアアア!!

ララ
おおお

あはは。
結局、侵入されちゃったんすね。

面白い。

いい憂さ晴らしになりそうだ。
なるほど、それじゃあ…
お、おい！そ…そいつらは殺すな…！
も、元に戻る可能性があるらしい…



ああ。
それ、俺の分身っす。

触ると感電しちゃいますよ。
…
あはは、大丈夫。力抑えましたから。
死んでないっすよ。たぶん。
それじゃ、町長の絶望に満ちた表情でも見に行きましょうよ。
ネイガンさん。
オオオオオ
イヤーイヤーイヤー
ガヤガヤガヤ

むうう…
眠いぞ、トウカ殿。
さっさと着替えろ！
ふてくされてんじゃねえ！
むむう…

ほらー！
お前がモタモタしてるから来ちまったじゃねえか！

この数…
彼らを傷つけずに無事ここを突破するのは…！

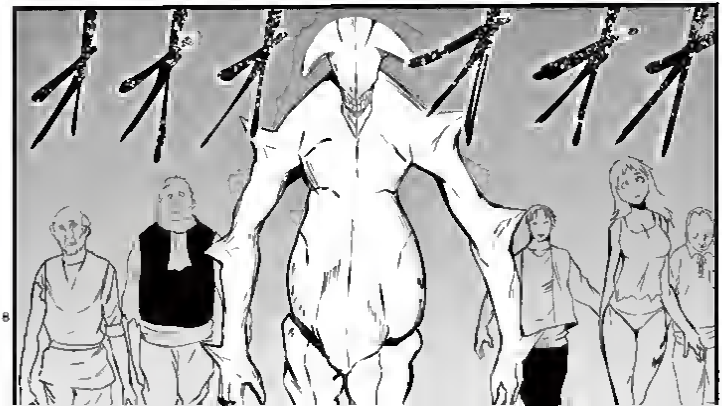
遠隔屍術!!

これはユナさんの時と同じく!
うむ。屍術で動きは止められる。

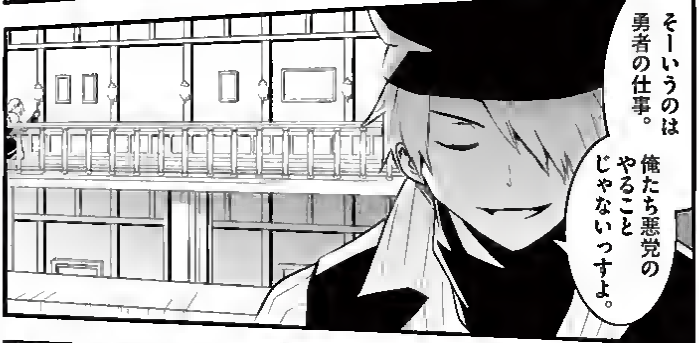
!
オオオオオオ

はっけーん。
おい！
頼む！
た！
助けてくれ!!

あはは！
助けてくれって！
この館は
安全じゃ
なかったんすかー？
へ、塀が
破られたとしても、
安全な部屋なら
あるんだ！
案内するから…
助けて！



ま、まずいぞ。悪魔だ！助けないと、あの男…
し…死ぬぞ!!
助けるって…
冗談はよしてくださいよ、ネイガンさん。


そーいうのは勇者の仕事。
俺たち悪党のやることじゃないっすよ。

おい！
誰か襲われてるぞ！
この距離じゃ間に合わねえ！

はあ…!?
届くって…
大丈夫です。
この距離なら…
届きます。
むむ…
それは
氷のかたまりを
飛ばす魔術では?
確か、殺傷能力は
低いと…

ガチャ
はい。
ですので、
この「魔導弓」を
使います。

アイン・フルーレティ
収束
氷の矢!!

これは、
シルエラさんの雷剣と
同系統の魔道具。
この魔導弓は
あらゆる魔術を
矢の形に収束させ――
遠方に飛ばすことが
できるのです。

ホントに安全な場所ってのはあるんだろーなー
この先です!!
ええ!もちろんです!!
ガクン
ヒューオオオオオ
屋根の上…?
第32話 ▶ 鋼鉄の部屋

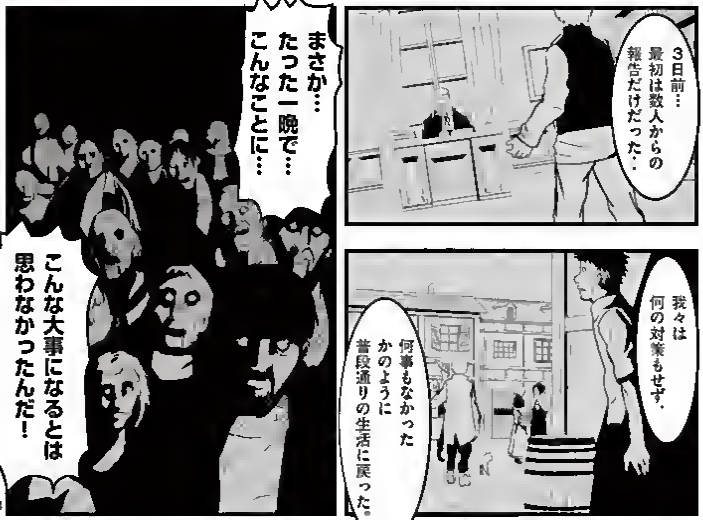
来たか。
偽勇者よ…
まさか…
コイツがいるから
安全とか
言うんじゃ
ねーだろうな
フ…
なるほどな…
いよいよ
己の無力さを悟り
この俺の力を頼りに来た…
そういうわけか…
いえ…
その人は
関係ありません。

あの部屋です。

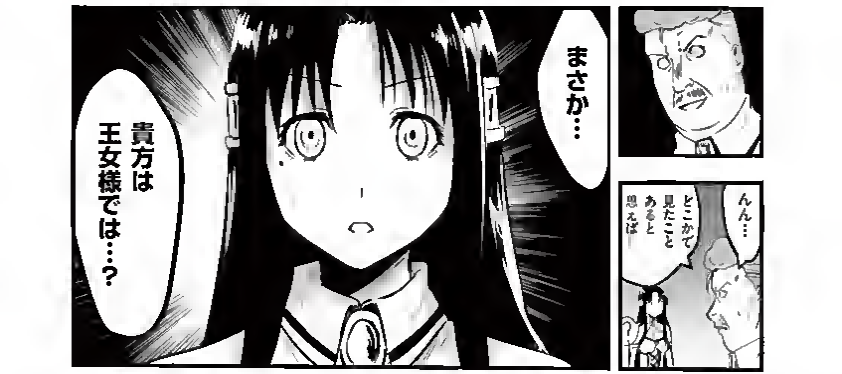
どうですか！
この鋼鉄の壁に囲まれた部屋!!
しかも！
全方位に攻撃可能な大砲まで完備している！
大砲!!
ガコッ
ドォン
ドォン
ははははは！
見ましたかこの破壊力！
凄いぞ！
かっこいいぞ！
アホかー!!
無闇にぶっ放してんじゃねえ！
屋塲所はれちまうだろーが！

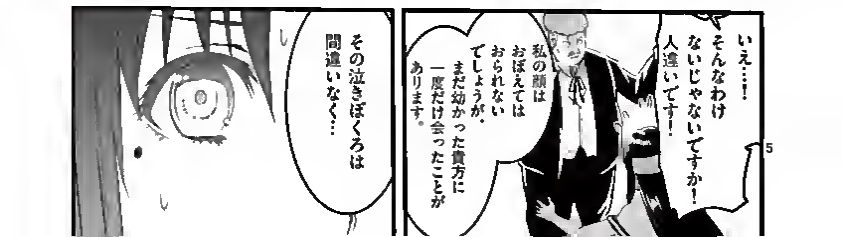
なに！
バレたところで
問題ありません！
この部屋にいれば
我々は安心安全！
何が安心安全だ！
爆が突破
されちまったことを
もう忘れたのか！
結局、
無事なのは
俺達だけだぞー
ふふふ…！
ははは！

ははは…
ははは…
ズーん
もう…
おしまいだ…
おしまい
なんだ！
この町長
メンドクセーな…

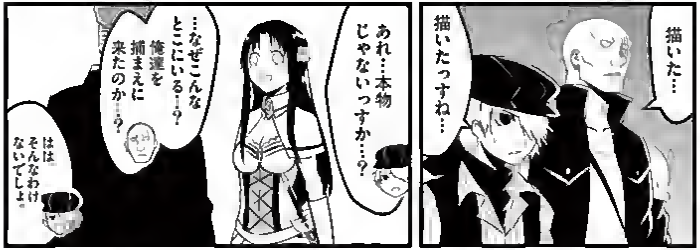

3日前…
最初は数人からの
報告だけだった…
我々は
何の対策もせず、
何事もなかった
かのように
普段通りの生活に戻った。
まさか…
たった一晩で…
こんなことに…
こんな大事になるとは
思わなかったんだ！

大丈夫です。
何も
心配することは
ありません。
わたくし達が、
すべて元に
戻してみせます。


んん…
どこかで
見たこと
あると
思えば
まさか…
貴方は
王女様では…？


いえ…！
そんなわけ
ないじゃないですか！
人違いです！
私の顔は
おぼえては
おられない
でしょうが、
まだ幼かった貴方に
一度だけ会ったことが
あります。
その泣きぼくろは
間違いなく…

こっちにもあります!!
ヴァロム流変装術奥義「ホクロ分身の術」!!
おお!すみません!
これは人違いでした!


描いた…
描いたっすね…
あれ…本物じゃないっすか…?
…なぜこんなとこにいる…?俺達を捕まえに来たのか…?
はは…そんなわけないでしょ。

そ…それにしても悪魔まで誘ってくるなんて驚きました!
もしかして、町の人達を豹変させた魔術も悪魔が使ったのではないでしょうか?
うむ。
しかも、これだけの規模の魔術…
上級悪魔が潜んでいる可能性が高い。

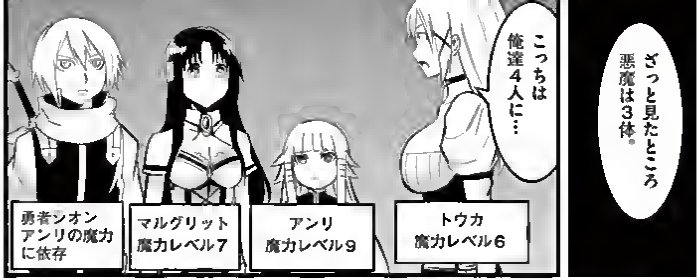
上級…

あはは！
敵はこの町の住民、全員に加え、何体いるかわからない悪魔、
さらに加えて上級までって！
いくら勇者様でも無理じゃないんすかね！
……
ふ、何も言い返せないか
やはり偽勇者、その程度の器か…

上級かよ…
王都で戦ったクラスのヤツがいるとなると、ますます下手に動けねえな…
いや…
アンリ…
リーランドの――
透視の魔晶石はまだ持ってるか？
うむ。

アイン・トグラス！
ちょ…ちょっとトウカさん!?
こんな時に何やってるんですか!!
ち…違う！透視で悪魔の位置を探し出そうと！
なるほど！さすがトウカ殿！
今の俺の魔力はそこらの魔術師より上！
下の階の部屋も、余裕で透視可能よ！

クソ…
難しいな…
魔力を込めすぎると、
存在そのものが
見えなくなっちまう。
いや…
待てよ。
この魔力視の
魔晶石を
同時に使えば…
いける!!
これなら
下の連中の位置が
完全に把握できるぞ!!
おお!
さすがトウカ殿!
明らかに人間のもの
じゃねえ形の魔力が
悪魔か。
あの一番踊いてるのが
上級か…?

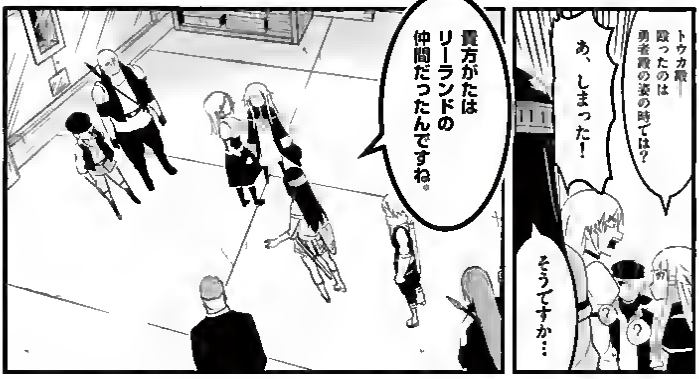

ざっと見たところ悪魔は3体。
こっちは俺達4人に…
勇者ンオン
アンリの魔力に依存
マルグリット
魔力レベル7
アンリ
魔力レベル9
トウカ
魔力レベル6

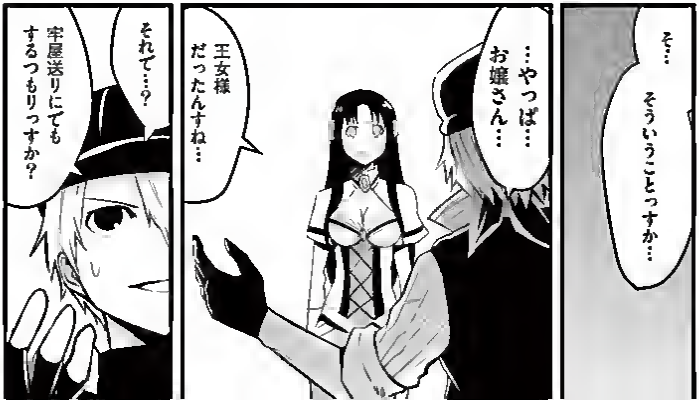
そこの二人に…
コリン
魔力レベル7
ネイガン
魔力レベル4
町長…
町長バーンズ
魔力レベル3
合わせて7人か。
おい…
俺が入ってないんだが。

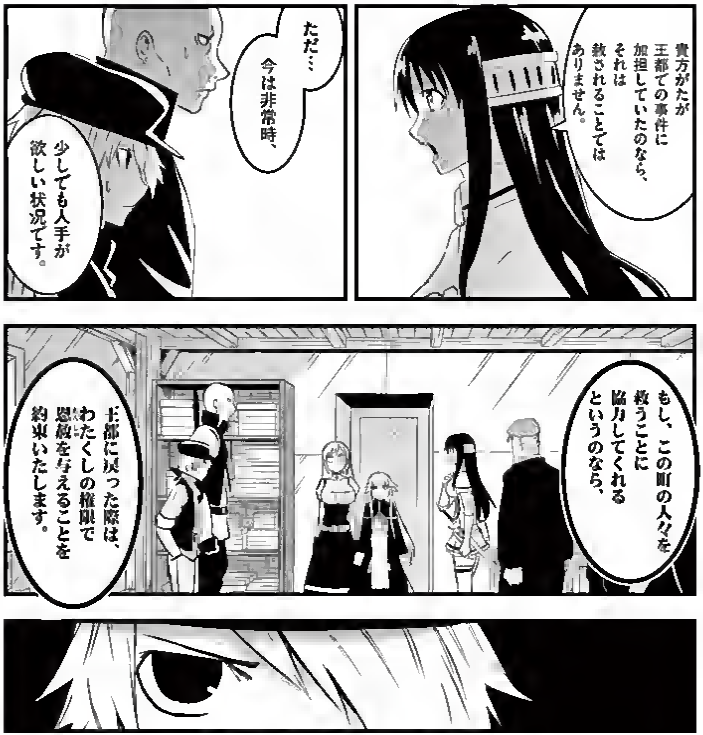
こっちは相手の位置がわかってんだ。
うまく奇襲をかけていけば、なんとかなるんじゃねえか？

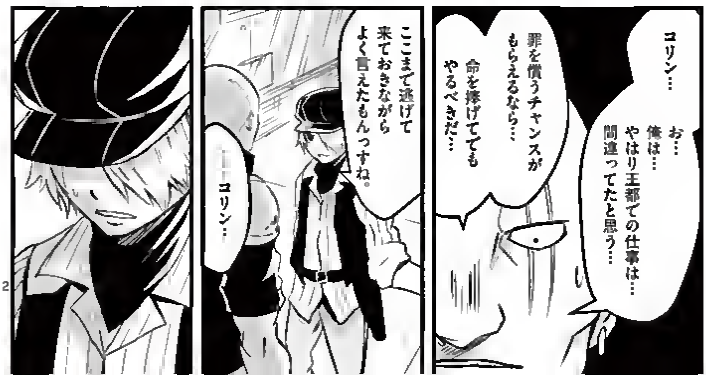
はあ！
なんで俺達が頭数に…！
悪いっすけど、俺達協力する気はないっすからね!!
そういやお前！

まさか…
やっぱりこの女…
全部てのこと…!
わ…悪いのは
俺じゃないっす!
あ…
あれはリーランドの
命令で…!
悪かったな、
殴ったりして。
逆に謝られた!?


トウカ殿
殴ったのは
勇者殿の姿の時では?
あ、しまった!
そうですか…
貴方がたは
リーランドの
仲間だったんですね。


そ…
そういうことっすか…
…やっぱ…
お嬢さん…
王女様
だったんすね…
それで…?
牢屋送りにでも
するつもりっすか?


貴方がたが
王都での事件に
加担していたのなら、
それは
裁かれることでは
ありません。
ただ…
今は非常時、
少しでも人手が
欲しい状況です。
もし、この町の人々を
救うことに
協力してくれる
というのなら、
王都に戻った際は、
わたくしの権限で
恩赦を与えることを
約束いたします。


コリン…
お…
俺は…
やはり王都での仕事は…
間違ってたと思う…
罪を償うチャンスが
もらえるなら…
命を捨ててでも
やるべきだ…
ここまで逃げて
来ておきながら
よく言えたもんっすね。
コリン…

へいへい、わかりました。
手伝えばいいんでしょ、手伝えば。
決まりですね。
では、さっそく行動を開始し…
ドオオオ
!?
な！なんだ今の音は！
下だ!!
ワッ

中級二体に…
上級悪魔…！

第33話 ▶ 屋根上の戦い

し…
下から
襲ってくる
なんて！
なぜだ！
なぜ
この部屋の
位置が！！
テメーが
大砲ぶっ放した
からだろーが！

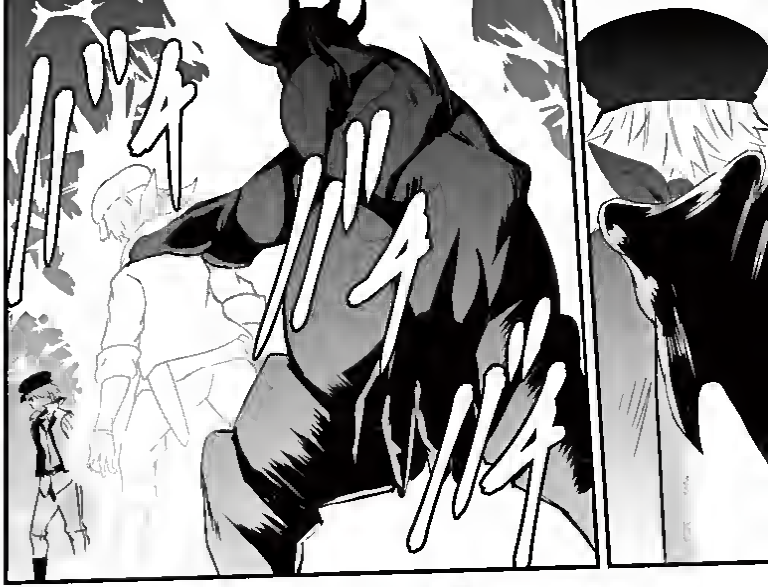
勇者シオン…
フフフ…
いました…
やはりいました…

ドン
ドン
ドン

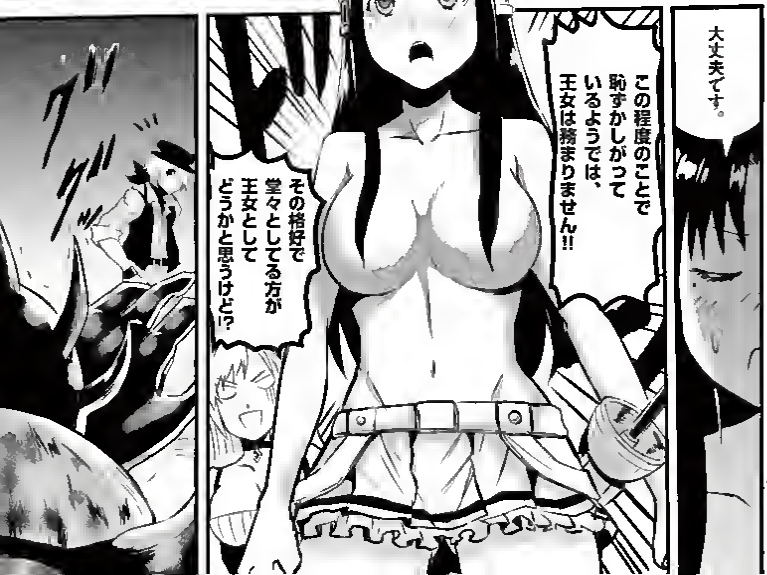
効かない…
ナゼ
効かない…？
!?

この悪魔…
触れたものを爆発させるのか…！
まずい！
マルグリット！
マルグリットオオオッ!!

〝ファロム流脱衣術〟
「空蝉（うつせみ）」
何
教え込んでんだ
あのおっさん！
アイザックの
教育がなければ
やられてました。
でも…
ありがとう、
おっさん！
ネイガンが
死んじゃう！
この狭い部屋じゃ
俺達が不利だ！
いったん
出るぞ!!


ドドド

マルグリット、
俺の服
貸してやるから
今のうちに着替えろ。
いけません！
それでは
ユナさんが
下着姿に！
心配は
いらんぞ
ヒメ殿。
私の知る限り、
ユナ殿はまともに服を
着ていることの方が
珍しい。
ああ、
気にすることは
ねえ！
ユナのフトモモ
拝めるしな！
お二人とも
ユナさんを
なんだと
思ってるん
ですか？

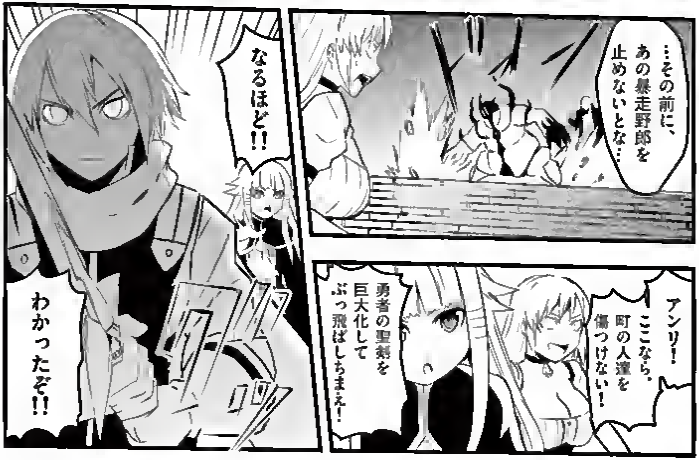

大丈夫です。
この程度のことで
恥ずかしがって
いるようでは、
王女は務まりません!!
その格好で
堂々としてる方が
王女として
どうかと思うけど!?
グルル

ウグッ…
あの悪魔…
生きてる…!!
ま、あと一撃くらわせば、今度こそ動かなくなるでしょ。
爆発の魔術に耐えられるよう、本体もタフにできてるみたいっすね。
フ…
手を出すな。
ここは俺にまかせろ。
俺があの世に葬送してやる。
まかせろって、もうだいぶ弱ってるんですけど!
何さりげなく手柄横取りしようと…!
ウグッグ

さっきの上級悪魔の攻撃！
仲間割れっすか？
いえ…あれは

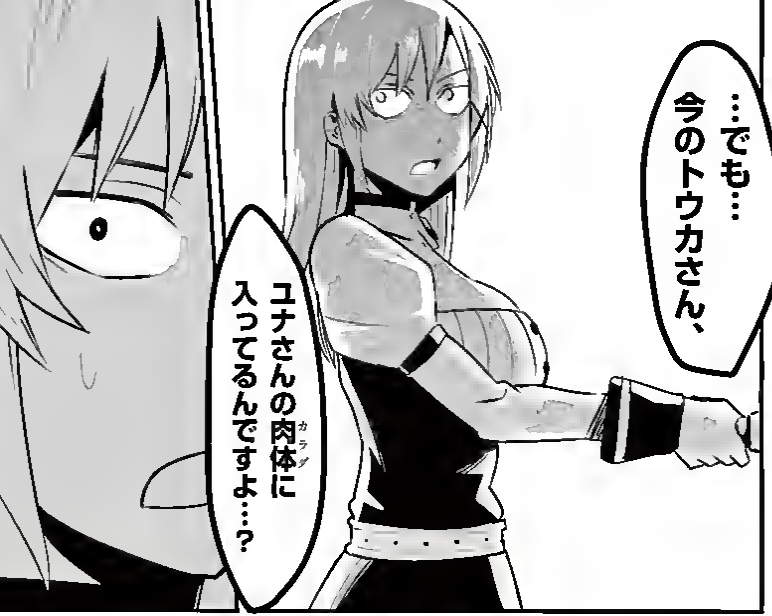
ベラーコォォォォッ!!
オイオイ！
何が弱ってるだ！
めちゃくちゃ
元気じゃねーかよ!!
先程と
様子が違い
過ぎます！
これは
もしかして……！
うむ、
間違いない…
町の者達を
約変させた
魔術と同じ…!!

てことは、
あの上級悪魔が
術者!!


…その前に、
あの暴走野郎を
止めないとな…
なるほど!!
わかったぞ!!
アンリ!
ここなら、町の人達を
傷つけない!
勇者の聖剣を
巨大化して
ぶっ飛ばしちまえ!

む…?
巨大化しないぞ!
それは
やっているのだが…
全く反応しない。
はあ!
聖剣を構えて
巨大化した姿を
イメージするだけ
だぜ?
ちょっと貸してみろ…!!
俺が手本を
見せてやるから!
こうテキトーに構えて…

巨大化した姿を…
イメージするだけ…
な、簡単だろ？
おお！さすがトウカ殿！
なんで…聖剣を操れるんですか…？
はあ？
なんでって、今までもずっと使ってたじゃねーか。


…でも…
今のトウカさん、
ユナさんの肉体(カラダ)に
入ってるんですよ…？

え…？
あれ…
なんで…？

キミ…
大丈夫？
う…

生きてた！
高いところから落ちてきたみたいだけど、
すっごい丈夫なんだね！
キミをひどい目に遭わせた悪いヤツはあの町にいるのね？
おい！
あんた危ないぞ、
町の住民は全員化け物だ…
だいじょーぶ！
ぜんぜん問題なしよ！
なんたってあたし…
勇者だから！

おまケ

トウカ達が
王都を旅立ってから
2週間後――
ホネェ！
ホネェ！
ホネェ！
ホネェ！
うるさいな。
少し静かに
してくれ
ないか？

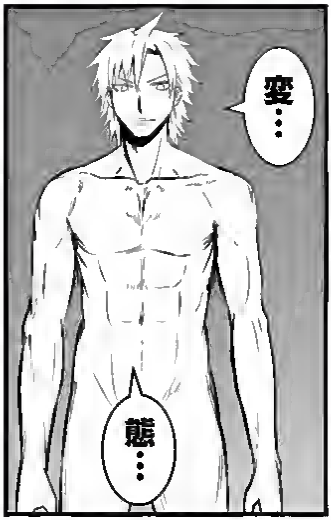
前日――

ホネホネ？
え？
なぜ彼のような
高貴な存在が
牢屋にいるのかって？
それはね
――…
カイル・オズメント
元勇者の仲間
神に愛された男

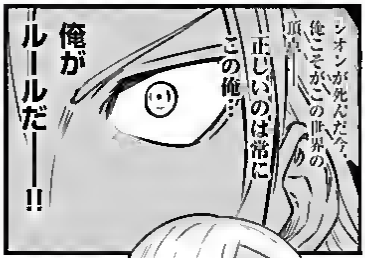
クク…
やってくれるじゃないが、
トウカ君…

だが、この俺が
海に落ちた程度で
やられるとでも？
必ず君を見つけ出して
借りは返させてもらうよ。
キャーキャー

いつの間にか
上都に着いてたか…
やはりここでも
俺は愛されてるな。
変態
キャー
キャー


変…
態…

なるほど…
服を着るのを
忘れていたか…
だが、俺はこの
一糸纏わぬ姿を
恥じたりはしない。

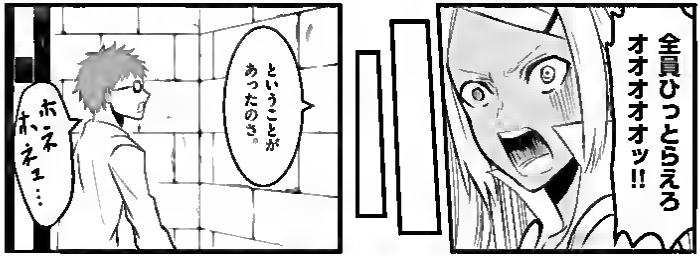

シオンが死んだ今、
俺こそがこの世界の
頂点
正しいのは常に
この俺…
俺が
ルールだ——!!

2

馬鹿者……！
風呂にまで
入ってくるな！
いったい何事だ……！

大変です！
シルエラ様！

市民が…!!
何者かの扉動により
全裸で王都を
闊歩しています…ッ!!


全員ひっとらえろ
オオオオオッ!!
ということがあったのさ。
ホネホネェ…

まったく…俺を牢屋に入れるなんて大問題だよ。
父上に知れたらいくら四騎士の君でも…
うるさい、黙れ、反省しろ。
シルエラ…頼む、出してくれ…
私は違うんだ。
誤解なんだ…!
たまたまファロム流脱衣術「空蝉」の修行中に捕まった。
うるさい、黙れ、反省しろ。

勇者が死んだ！③

裏少年サンデーコミックス

ISBN978-4-09-126628-6

2015年11月17日初版第1刷発行

著者　スバルイチ
©Subaruichi 2015

発行者　佐上靖之

印刷所　図書印刷株式会社

Printed in Japan

「裏サンデー」2015年6月16日配信分～9月22日配信分掲載作品
連載担当／石橋和章／白水美咲
単行本編集責任／親田正樹
単行本編集／白水美咲／宗像千華（アイプロダクション）

発行所　（〒101-8001）東京都千代田区一ツ橋二の三の一
TEL 編集03(3230)5480
販売03(5281)3556
株式会社小学館

●造本には十分注意しておりますが、印刷、製本など製造上の不備がございましたら「制作局コールセンター」（フリーダイヤル 0120-336-082）にご連絡ください。
（電話受付は、土・日・祝休日を除く 9:30～17:30）
●本書の一部または全部を無断で複製、転載、複写（コピー）、スキャン、デジタル化、上演、放送等をすることは、著作権法上での例外を除き禁じられています。代行業者等の第二者による本書の電子的複製も認められておりません。